

事業概要：東九州メディカルバレー構想に基づく医療関連機器成長戦略事業

継続

申請者	宮崎県、大分県ほか 3 自治体※					初回採択回	令和 4 年度第 1 回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	155,999千円 (31,388千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	東九州メディカルバレー構想を推進するため、大分県、宮崎県、宮崎県内において特にものづくり企業が集積している県北自治体による広域連携により、東九州地域の特徴である血液・血管関連の医療機器を中心に介護・福祉機器分野を含む医療関連機器産業への企業参入を進め、海外市場への展開を見据えた研究開発の促進、地場企業の育成と成長、国内外における医療関連技術人材の育成などに取り組む。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ①産学連携による開発案件創出及び機器開発等促進事業として、県内でのマッチング会の開催や経営層向けの参入促進セミナーの実施などに取り組む。 ②宮崎県北部メディカル産業推進協議会による参入・開発促進事業として、部材供給データベースの構築・IT関連企業参入促進のための勉強会の開催などを支援する。 ③開発製品の販路開拓支援事業として、地場企業に対し、試作費用や医工連携フォーラムへの参加費用等を支援する。					開発補助 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ①宮崎県：9,248千円 （開発補助金 8,000千円、セミナー等開催 1,248千円） ②延岡市・日向市・門川町：6,473千円 （部材供給DB構築等4,530千円、セミナー等78千円、連携補助金1,800千円、運営費65千円） ③宮崎県：11,251千円、大分県：3,000千円 宮崎県北部メディカル産業推進協議会：1,416千円 （国内外における展示会出展等）					セミナー開催 	
主なKPI						県内マッチング 	
						展示会出展 	
主なKPI	①医療・介護・福祉関連機器の市場化件数（+4件） ②メディカルバレー推進プラットフォームによる「開発実現等検証会議」で認定された事業件数（+4件） ③海外大学・医療機関等との調査マッチング件数（+6件） ④展示会後の商談成立・継続件数（+20件）					URL ※交付金の具体的用途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(宮崎県) https://www.pref.miyazaki.lg.jp/sogoseisaku/kense/sogoseisaku/chiho-sosei/20260622191453.html (大分県) https://www.pref.oita.jp/soshiki/10112/dejiden-kohukin.html
	※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						

※宮崎県、大分県、宮崎県延岡市・日向市・門川町の広域連携事業

事業概要：宮崎県の強みを生かした「5つのS」観光誘客促進プロジェクト事業

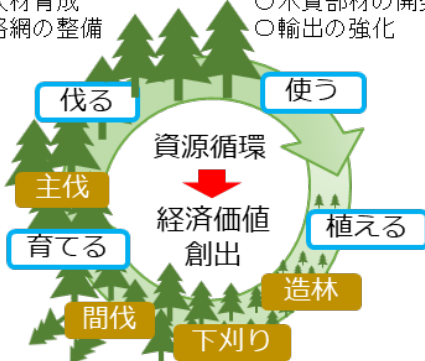
旧制度（推進）

申請者	宮崎県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	409,179千円 (109,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	コロナ禍・物価高騰等やデジタル化への対応を図り、本県観光の着実な再生と更なる活性化を推進するため、食やスポーツ、神話、自然・森林といった本県の強みである「5つのS」を最大限に生かした観光誘客等の促進や戦略的な観光プロモーションを実施する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・神話や自然、森林、食を活かし、県内周遊・長期滞在に繋げる観光ガイドシステム作成などを行う。 ・交通事業者や民間事業と連携し、九州内外に向けた戦略的なプロモーションを実施する。 ・次代の観光宮崎を見据えた持続可能な観光地域づくりのため、人材育成を行う。	宮崎の強み 5つのS 食 スポーツ 森林 自然 神話	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・観光ガイドシステム作成等（委託費）16,000千円 ・広報媒体制作、周遊促進企画（委託費）10,000千円 ・食をテーマとした参加型周遊イベント（補助金）15,000千円 ・キャンプ会場と周辺観光地の周遊促進企画（補助金）9,000千円 ・交通事業者等との連携PR（補助金）18,000千円 ・民間事業と連携したプロモーション（補助金）4,000千円 ・「推し活」を活用した誘客プロモーション10,285千円 ・旅行展示会での観光PR（補助金）4,000千円 ・マーケティング等に知見のある外部専門家配置(補助金) 13,888千円 ・観光人材育成のための養成プログラム等実施（補助金）9,327千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①地域における観光消費額（+50,320百万円） ②観光客入込数（+3,603千人回） ③延べ宿泊者数（+1,030千人泊） ④県外からのキャンプ・合宿延べ参加者数（+75千人）	関連URL	https://www.pref.miyazaki.lg.jp/sogoseisaku/kense/sogoseisaku/chihososei/20260622191453.html

事業概要：みやざきグリーンイノベーション創出事業

旧制度（推進）

申請者	宮崎県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	405,268千円 (79,248千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	農水産業の生産性向上及び省力化、物流の効率化により、魅力的な産業として稼ぐ力を高める 粗飼料生産・供給体制の確立及びカーボンプリキット制度活用等を通じ、地域資源循環社会の形成につなげる 外国人等の多様な人材の確保と中山間農業の集落機能の維持強化により、農水産業の持続的な成長を図る		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○効率的で持続可能な物流体制構築の支援 ○農業でのカーボンプリキット活用拡大に向けたモデル実証 ○畜産粗飼料の自給率100%実現に向けた、コンサルや機械・施設の導入、オペレーター確保支援と中山間地での放牧の推進 【R8年度事業 経費内訳】 ・モデル実証推進、物流効率化に要する経費(補助金)1,400千円 ・クレジット認証までの実証に要する調査(委託費)6,248千円 ・コンサルによる地域飼料生産組織の機能強化(補助金)2,200千円 ・地域資源活用のための施設・機械の導入(補助金)50,101千円 ・オペレーターの人材確保支援(委託費)500千円 ・中山間地域での放牧の推進(補助金)1,199千円 生産性向上に向けたイノベーション ○生産性の向上・省力化 スマート&グリーン産地と機械の活用 持続性の高い農水産業への転換 ○地域資源の創出・活用 粗飼料の生産拡大 両立を支える基盤づくり ○基盤となる人材確保 就業前研修の実施 ○物流体制の効率化 持続可能な物流体制の構築 ○脱炭素による収益向上 水稲中干し延長によるクレジット創出 ブルーカーボン 藻場造成の促進 ○中山間地農業の維持 集落活動の支援組織の育成 環境に配慮した持続可能な農水産業（グリーン成長）を実現		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農水産出荷額（+82億円） ②農水産業のクレジット認証量（+600t-CO ₂ /年） ③粗飼料自給率（+12%） ④農業法人における雇用人材数（+2,513人）		
	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.miyazaki.lg.jp/sogoseisaku/kense/sogoseisaku/chihososei/20260622191453.html	

申請者	宮崎県、美郷町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	3,973,570千円 (638,188千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	林業経営に適した林地において、再生林による資源循環林としての再利用を進め、森林の経済的価値を創出。収入源ともなり再生林の原資ともなる木材販売を確保するため、新たな県産材需要の開拓や県外の販路拡大。安定的な木材供給や効率的な森林施業に必要な路網の整備、治山対策による安心・安全な暮らしの確保。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 付加価値向上の体制整備や仕組みづくりとして、森林や木材の新たな価値を創出する人材育成、県産材需要の拡大に繋げる仕組みづくりや民間施設等整備の支援、再生林を推進するための普及啓発や推進体制の確立等に取り組む。					○デジタル技術の推進 ○人材育成 ○路網の整備 ○県産材需要開拓 ○木質部材の開発 ○輸出の強化   ○治山対策 ○省力・低コスト技術の普及 新たな県産材需要の開拓	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・地域人材の育成 都市部企業やデザイン人材との交流（委託料）11,900千円 ・販路拡大 木造化推進の仕組みづくりや相談窓口（補助金）3,000千円 PR発信を行う民間施設等整備支援（補助金）21,800千円 ・省力・低コスト再生林の推進 研修会開催や県民への普及啓発（委託料）9,410千円 ○インフラ整備事業 ・治山事業 100,000千円 崩壊斜面に山腹緑化工を施工する。 ・林道事業 450,000千円 林道の開設、改良、舗装を実施する。						
主なKPI	①製材品出荷量（+38千㎡） ②再生林率（+12.4%） ③首都圏、中京圏、関西圏における製材品出荷量の割合（+3%） ④非住宅建築物における木造建築の割合（+4.5%） ⑤治山事業による崩壊地の復旧面積（+3.9ha） ⑥林内路網密度（+0.5m/ha）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.miyazaki.lg.jp/so goseisaku/kense/sogoseisaku/chiho sosei/20260622191453.html

申請者	宮崎県ほか 4 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	610,685千円 (270,580千円)
事業類型	ソフト 事業	✓	拠点整備 事業	✓	インフラ 整備事業		
目的・効果	・大規模国際スポーツイベント（大会・合宿）等を誘致するとともに、本県の強みであるサーフィンやゴルフ、サイクルなどのスポーツツーリズムを主に海外向けにPRしていく。加えて、盛り上げ対策なども実施することで、海外からのインバウンドを増加させ、観光消費額の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「スポーツ観光」という本県ならではの観光ブランドを活かし、観光面での交流人口の拡大、観光産業の促進を図るため、大規模国際スポーツイベント等を契機とした情報発信や国スポ・障スポ後の施設の継続的な活用を図る。また、サーフィンについては、アクセス道路や駐車場整備のハード事業をソフト事業と連動して実施することで、地域経済の活性化や観光振興などの好循環を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・ツール・ド・九州開催に係る周知広報経費 （負担金） 54,000千円 ・テニスの国際大会開催に係る周知広報経費 （負担金） 10,000千円 ・サーフィン・サイクリングを中心とする旅行商品造成やプロモーションなど誘客促進に係る経費 （委託料） 44,612千円 （補助金） 3,260千円 ○拠点整備事業 ・木崎浜海岸駐車場等整備 （工事請負費） 104,708千円 ○インフラ整備事業 ・木崎浜アクセス道路整備 （工事請負費） 50,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（＋706億円） ②観光入込客数（＋377万人） ③外国人延べ宿泊者数（＋21万人） ④国外代表合宿数（＋7チーム）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.miyazaki.lg.jp/so_goseisaku/kense/sogoseisaku/chiho_osei/20260622191453.html

※宮崎県、宮崎市、都城市、延岡市、日南市の広域連携事業

申請者	宮崎県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	586,535千円 (194,595千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	DXの県内企業への浸透と、データや産学官の新技术活用等を通じた新事業創出などによる事業変革及び成長が期待される産業分野（半導体）への取組強化、これらの取組を支える多様な人材の確保・育成により、「県内企業の労働生産性の向上」、「事業変革に取り組むことで、付加価値の高い事業が展開される企業の増加」、「本県産業を支える多様な人材の育成・確保」の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・DX（デジタルを活用した業務効率化）推進に向け、企業間交流の場やモデル事業者との意見交換会、デジタル化への補助や伴走支援を行う。 ・成長産業の強化に向け、産学官連携の拠点の設置や半導体分野の企業誘致や販路拡大のためのトップセールスなどを行う。 ・産業を支える多様な人材の確保のため、人材定着に係る取組に対する支援など必要な支援策を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・DX推進による取組 -DX推進モデル企業創出（委託費）19,912千円 -事業変革に向けたデジタル技術等の導入支援（補助金）101,920千円 ・事業変革に向けた取組 -産学官等の協働による事業変革拠点整備（補助金）13,142千円 ・成長期待産業（半導体）分野への投資 -展示会出展やPRの強化（委託費）15,488千円 ・担い手人材確保に向けた取組 -外国人材受入れの相談窓口（委託費）16,826千円						
主なKPI	①本事業による1人当たりの労働生産性向上（+3.75%） ②本事業による「DX認定」取得企業（+20者） ③デジタル技術導入等に取組んだ事業者（+432件） ④外国人雇用事業所数（+390所） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.miyazaki.lg.jp/so_goseisaku/kense/sogoseisaku/chiho_osei/20260622191453.html

申請者	宮崎県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	630,211千円 (210,937千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・農林水産業の生産基盤を強化するとともに、異業種連携や6次産業化等による県産品の高付加価値化により、更なる外貨獲得を図る。 ・農産物の有機転換と有機関連食品開発、販路拡大支援により、需要が拡大する有機食品市場において、外貨を獲得する。 ・国内外での県産品の魅力発信、海外展開を図る事業者支援を通じ、県産品の認知度向上・販路拡大を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市場調査の結果、マーケットニーズを捉えた付加価値の高い商品が求められている事が判明したため、コミュニティの形成や人材育成セミナーを通じて事業者間の連携を促進し、商品開発から販路開拓までを一体的に支援する。また、企業の参入促進やデジタル技術を活用した体制整備、環境保全型水産業の支援により、持続可能で安定的な生産基盤を構築する。加えて、メディアミックスによるプロモーションや海外EC展開支援を強化し、国内外への販路拡大を通じた外貨を稼ぐ新ビジネスの創出を推進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・異業種連携や6次産業化による農産物の高付加価値化（委託）13,681千円 ・海外、インバウンド等の需要に対応した商品開発支援（補助）8,500千円 ・新たな担い手としての企業の農業参入に向けた誘致活動（委託）4,427千円 ・環境負荷低減型の養殖の導入・転換支援（補助）11,377千円 ・農産物の有機転換に必要な基盤整備（補助）10,000千円 ・有機関連商品開発、改良、販路拡大支援（委託）10,000千円 ・海外現地サポートデスクの設置及び海外EC販売支援（委託）36,000千円 ・テレビや雑誌等のメディアを活用した県産品プロモーション（委託）25,142千円						
主なKPI	①食品関連産業生産額（+3,237億円） ②本事業による県産品を活用した商品開発・改良件数（+127件） ③本事業による小売店等とのマッチング件数（+147件） ④本事業による県産品の売上額（+4.89億円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.miyazaki.lg.jp/so_goseisaku/kense/sogoseisaku/chiho_sosei/20260622191453.html

事業概要：誰もが安心して心ゆたかに暮らし続けることができる魅力的な地域づくりプロジェクト

継続

申請者	宮崎県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	391,351千円 (144,837千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	魅力的な地域づくりを進めることで、県外流出が著しい現状を抑制するとともに、積極的な情報発信による宮崎ファンづくりをすすめ、移住・定住に繋がる関係・交流人口の拡大を図る。 移住者等の雇用の場を創出するとともに、様々な世代が地域を超えて参加する文化交流を進めることで地域の担い手の確保・育成を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 日常生活に不可欠なサービスを維持・確保するための仕組みづくりに取り組むほか、本県が有する伝統文化や祖母・傾・大崩ユネスコエコパークなどの世界ブランドを県内外にアピールすることで関係・交流人口の創出・拡大や、地域づくりを行う上で必要不可欠である地域を担う人材の育成・確保に取り組む。 また、特定地域づくり事業協同組合の設立により、移住者等の雇用の場を創出する。					 祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○小さな拠点づくり（「宮崎ひなた生活圏づくり」）の形成促進に向けた取組 ・地域と大学が協働して行う地域課題解決に向けた取組（委託料）12,851千円 ○関係・交流人口拡大に向けた地域活性化への取組 ・祖母・傾・大崩ユネスコエコパーククインバウンド受入体制強化（委託料等）65,445千円 ・地域文化を活用した地域振興（委託料）19,017千円 ○地域の担い手確保・育成に向けた取組 ・特定地域づくり事業協同組合の設立に向けた取組（委託料等）10,023千円 ・地域文化の継承・発展を担う人材確保への取組（委託料）16,403千円					 地域住民とともに課題解決  地域文化を活用した地域活性化  特定地域づくり事業協同組合で働く職員	
主なKPI	①社会動態（+1,165人） ②特定地域づくり事業協同組合の設立数（+6組合） ③日頃から文化に親しむ県民の割合（+3%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.miyazaki.lg.jp/so_goseisaku/kense/sogoseisaku/chiho_sosei/20260622191453.html

事業概要：未来を担う子ども育成・若者女性活躍環境づくりプログラム

継続

申請者	宮崎県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	164,116千円 (54,840千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- 女性が働きやすい職場環境整備に取り組む企業に対し補助金を交付し、女性の活躍に向けた取り組みのきっかけを創出するとともに、シンポジウムの開催、経営層・女性リーダー向け研修の充実等により女性活躍、男女共同参画の機運を醸成し、女性が生き生きと活躍できる環境整備づくりを進める - 小・中学生、高校生を対象にした科学力向上の取組みを通して人材育成を図り、安心して子育てできる教育環境づくりを進める。 - このような取り組みを推進することにより、若者、女性の県内定着を図り、社会減の抑制につなげ、自然減対策との好循環を目指す。						
事業概要・主な経費	【事業概要】 本事業は、女性の活躍推進および次世代を担う子どもたちの育成を目的とし、以下の施策を実施する。 ○女性が生き生きと活躍できる環境整備 ○意欲や学力に優れた子どもたちの育成 ○女性が働きやすい職場環境整備（ハード整備）					未来を担う子ども育成・若者女性活躍環境づくりプログラムイメージ図 <pre>graph TD; A[社会減抑制] --> B(県内定着); B --> C[若者・女性]; C --> D[働きやすさ]; C --> E[子育てのしやすさ]; D --> F[女性が働く環境整備]; E --> G[子育て環境整備]; F --> H[県内企業]; G --> I[小学生・中学生・高校生]; H --> J[男女共同参画意識の醸成 女性活躍推進]; I --> K[科学力向上 人材育成];</pre>	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 ・女性活躍に向けた総会・シンポジウム・研修会等の開催経費 8,637千円 ・先端科学技術施設等の訪問、見学旅費及び運営費 6,362千円 ・海外進学セミナー、体験型科学イベント開催運営費 12,623千円 ○施設整備・事業設備・備品経費 ・女性の職場環境整備支援補助金（トイレ・更衣室等） 27,218千円						
主なKPI	①社会増減数（+651人） ②県内民間事業所の管理職（係長相当職以上）に占める女性の割合（+8.6%） ③みやざき女性の活躍推進会議会員企業数（+99社） ④科学の甲子園ジュニア参加者数（+75人） ⑤科学オリンピック受験者数（+78人） ⑥科学オリンピック本戦出場者数（+6人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.miyazaki.lg.jp/sogoseisaku/kense/sogoseisaku/chiho/sosei/20260622191453.html

事業概要：高千穂通り道路空間再編事業

継続

申請者	宮崎県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	685,400千円 (339,800千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・宮崎駅と中心市街地を結ぶ高千穂通りにおいて、道路利活用の基盤づくりとしての賑わい創出のモデルイベント開催と併せて、歩行者や自転車の安全で快適な通行空間や人々が滞在しやすい空間へと再編し、沿道と一体となった居心地が良く歩きたくなる道路空間の創出を図ることで、まちなかの魅力と回遊性を向上させ、中心市街地の活性化に寄与する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 まちなかの魅力向上と賑わい創出に向けて、ほこみち制度を活用したモデルイベントの企画・実証・検証を行う。事業後の持続可能な活動に繋げるため、事業の枠組み作りと県民参加に取り組む。 また、安全・安心で歩きたくなる通行空間づくりのため、新たに自転車道や歩道空間を整備する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 道路利活用のモデルイベントの企画・実証・検証を行う。 ・賑わい創出モデルイベントの実施（委託料）2,800千円 ○インフラ整備事業経費 居心地が良く歩きたくなる道路空間を創出するための道路空間再編事業 ・工事請負費 337,000千円						
主なKPI	①平日1日あたりのまちなかの滞在人口（+2,487人） ②事業により確保した活動スペースの利活用回数（+6回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.miyazaki.lg.jp/sogoseisaku/kense/sogoseisaku/chiho/sosei/20260622191453.html

事業概要：林業・木材産業県「みやざき＝M I Y A Z A K I」の
新たな「稼ぐ林業」モデル構築事業

新規

申請者	宮崎県、諸塚村					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	444,499千円 (163,833千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・短期就業の導入など、新たな働き方を構築し、林業・特用林産業分野における労働力確保及び就業定着に繋げる。 ・森林調査や木造建築における技術的なハードルをクリアすべく、技術研修会の開催やICT技術の導入支援等を行い、林業・木材産業現場へ普及・定着を促進する。 ・木材・特用林産物の高付加価値化を図り、安定かつ多様な需要を呼び込み、新たな分野や地域でのニーズ獲得を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 人口減少・高齢化による労働力不足は、木材・特用林産物の生産力低下を招き、また、人口減少は住宅着工戸数の減少による木材需要の低下及び特用林産物の消費低迷等により地域産業を衰退させていくことから、人口減少社会に適応した産業構造や需給構造への変革が強く求められている。そのため、域外からの労働力確保やICT等の技術導入により、生産性向上を推進するとともに、新たな製品開発の強化や認証制度を活用した木材・特用林産物の高付加価値を図り、魅力ある製品等によって、海外需要を含む国内外からの消費需要を獲得し、持続可能な経営基盤を構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・林業等の新たな働き方による労働力確保（委託料等）18,400千円 ・ドローンを活用した森林調査の普及と生産性向上（委託料）3,147千円 ・付加価値の高い製材品の輸出拡大（委託料等）44,990千円 ・特用林産物の付加価値向上と需要拡大（委託料等）8,536千円 ・地域資源を活用した新たな商品開発と価値発信（補助金）7,400千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①県産製材品の輸出額（＋228百万円） ②製材品出荷量（＋23千m ³ ） ③有機JAS等の認証件数（＋3件） ④造林事業・特用林産業に従事する短期雇用労働者数（＋27人） ⑤ドローンを活用した森林調査に取り組む事業体数（＋15者） ⑥全村森林公園における観光入込客数（＋6,432人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.miyazaki.lg.jp/sogoseisaku/kense/sogoseisaku/chihosei/20260622191453.html

事業概要：魅力の磨き上げと発信による『みやざき』観光推進・地域振興プロジェクト事業

新規

申請者	宮崎県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	730,290千円 (265,994千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・低迷する認知度とインバウンド回復の遅れを克服するため、本県の強みを国内外へ戦略的に発信する。 ・滞在・周遊型観光を促す強力なコンテンツが必要であることから、県の強みを生かしたスポーツ・神楽・食等の独自の観光資源の磨き上げを行い、周遊、滞在型観光の強化、観光入込客の増加を図る。 ・宿泊施設の不足や二次交通の脆弱性を解消し、全域を周遊できる受入環境を構築。宿泊日数と満足度を向上させる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本県独自の魅力的な観光資源を磨き上げ、戦略的な情報発信により、その価値を国内外へ最大限に浸透させる。さらに高付加価値型宿泊施設の誘致調査や二次交通対策、スポーツメディカル等施策を一体的に行うことで、国内外の観光客の滞在・周遊と消費額の最大化を図り、地域経済を牽引する地場産業を構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・みやざきの魅力発信拠点設置（委託料）88,034千円 ・欧米を中心としたインバウンド向けのオンラインプロモーションの実施（委託料）15,000千円 ・神楽のユネスコ登録を見据えた国内外での高付加価値化と受入れ基盤強化（委託料）42,430千円 ・スポーツメディカルサポートの体制構築による「スポーツランドみやざき」の高付加価値化（補助金）23,436千円 ・高付加価値型宿泊施設等の誘致可能性の調査（委託料）9,988千円 ・インバウンドの県内周遊を促進する二次交通対策（委託料・補助金）35,600千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+392億円） ②観光入込客数（+185万人回） ③外国人延べ宿泊者数（+18.7万人泊） ④高付加価値型宿泊施設開発事業者候補の選定（+1社） ⑤アンテナショップ売上（+1億円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.miyazaki.lg.jp/so_goseisaku/kense/sogoseisaku/chiho_sosei/20260622191453.html

事業概要：みやざきが支える食料安定供給プロジェクト事業

新規

申請者	宮崎県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	854,738千円 (284,124千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・スマート農業技術の活用や気候変動対策の実施、省力化に向けた生産体制整備等により農業生産基盤の高度化を図る。 ・就農支援体制整備や多様な雇用雇用人材が活躍できる育成制度や就労環境の整備により農業経営の安定化に繋げる。 ・県内農産物の適正な価格形成やマーケットイン型の商品開発や販路拡大を支援し、県内食資源の高付加価値化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・AI分析技術の開発や気候変動対策の実証支援を行うとともに、農作業の共同化や分業体制構築により労働生産性の向上を図る。 ・新規就農者の誘致に向けた農業体験会の開催や就農団地整備支援を行う。また、雇用人材の確保・定着に向け、就労環境改善や外国人材の研修体制整備等を支援する。 ・県内農産物の適正価格に向けた理解醸成を図るプロジェクト等を実施するとともに、商品開発や冷凍調理食品の販路拡大を支援する。					生産力・加工機能の強化 多様な担い手労働者の確保・育成 食資源の高付加価値化 食料の安定供給	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・データ連携機能やA I 分析技術等の開発（委託料）91,422千円 ・就農団地整備に向けた調査費用（委託料）7,000千円 ・働きやすい環境構築に向けた研修会の実施（補助金）1,200千円 ・農業技術習得に向けた研修体制構築支援（委託料）7,400千円 ・県内食品製造業者の販路拡大支援（委託料）13,750千円						
主なKPI	①食料品出荷額（+372億円） ②主要品目（米、芋類、野菜、果樹）の生産量（+2.1万t） ③農業法人における雇用者数（+2,283人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.miyazaki.lg.jp/so_goseisaku/kense/sogoseisaku/chiho_osei/20260622191453.html

事業概要：暮らしを支える新たな生活インフラ機能強化プロジェクト

新規

申請者	宮崎県						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	498,244千円 (159,110千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・人口減少社会への対応として、買い物や物流等の在り方について検討・構築し、持続可能な生活インフラを確立するとともに、地域が抱える課題解決の運営主体となり得る人材育成や「地域コミュニティ」の基盤を整備することにより、中山間地域で将来にわたって安心して暮らし続ける環境を構築し、地方創生を実現する。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 人口減少に対応し、生活インフラ維持とコミュニティ強化を推進するため、官民連携での共同配送網の構築やデジタル技術による物流効率化、コンビニ・郵便局等を活用した買い物や金融などのサービスを集約した複合拠点整備を行うほか、生活基盤を支える人材確保、地域住民同士が支え合う基盤整備などに取り組む。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ・官民連携による共同配送網の構築など地域物流の効率化に向けた検討・実証に係る経費（委託料、補助金）20,000千円 ・市町村が実施する生活インフラ確保に向けた拠点整備への支援（補助金）74,000千円 ・外部専門家による地域運営組織の形成支援（委託料）15,289千円 ・プラットフォーム会員同士が連携して実施する地域のつながり創出モデル事業への補助（補助金）8,000千円 ・防災実践塾及び防災カフェの運営に関する経費（委託料）3,027千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①社会増減数（+2,866人） ②検討・実証に参画する運送事業者数（+5事業者） ③生活インフラ拠点整備数（+6件） ④地域運営組織の形成数（+4件） ⑤孤独と感ずることが「しばしばある・常にある」と回答した県民の割合（▲2.52%） ⑥災害に対する備えをしている人の割合（+26.9%）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.miyazaki.lg.jp/sogoseisaku/kense/sogoseisaku/chiho_sosei/20260622191453.html

事業概要：女性・若者の活躍とデジタルの活用によるローカルイノベーション推進プロジェクト

新規

申請者	宮崎県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	280,092千円 (85,436千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・女性・若者をはじめ多様な人材が活躍することでイノベーションが創出され、生産性や技術力の向上を目指す。 ・デジタル人材を育成し、デジタル技術を活用した事業変革の推進によって、高い付加価値を生み出す。 ・スタートアップや若手経営者の新たなチャレンジを支援することによって、イノベーションを創出し、高い付加価値を生み出す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 女性活躍に取り組む企業等の情報発信等を行い、経営者層や家庭の意識改革と行動変容につなげる。高校生等を対象としたキャリア学習や実業系教員向けの県内企業の知見を深める取り組みを実施し、人材確保につなげる。また、DXを実践できる人材の育成やスタートアップへの支援、事業承継に係るネットワーク構築により県内企業の成長を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・女性活躍と家事・育児の分担推進に関する啓発強化 (委託料) 16,605千円 ・若者・教員への県内製造業又は情報通信業の啓発活動 (委託料) 10,985千円 ・DX推進へ向けた戦略立案から実装までをけん引する実践型人材育成支援 (委託料) 27,925千円 ・県外からの投資を呼び込むスタートアップの成長支援 (委託料) 21,213千円 ・アトツギのネットワーク構築支援 (補助金) 3,200千円						
主なKPI	① 1人当たりの労働生産性 (+210.5千円) ② 本事業の支援によるDXけん引人材の育成 (+900人) ③ 本事業の支援による資金調達を行ったスタートアップ企業数 (+9社) ④ 本事業の支援による令和10年度ビジネスプラン策定件数 (+16件)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.miyazaki.lg.jp/so/goseisaku/kense/sogoseisaku/chiho/sosei/20260622191453.html

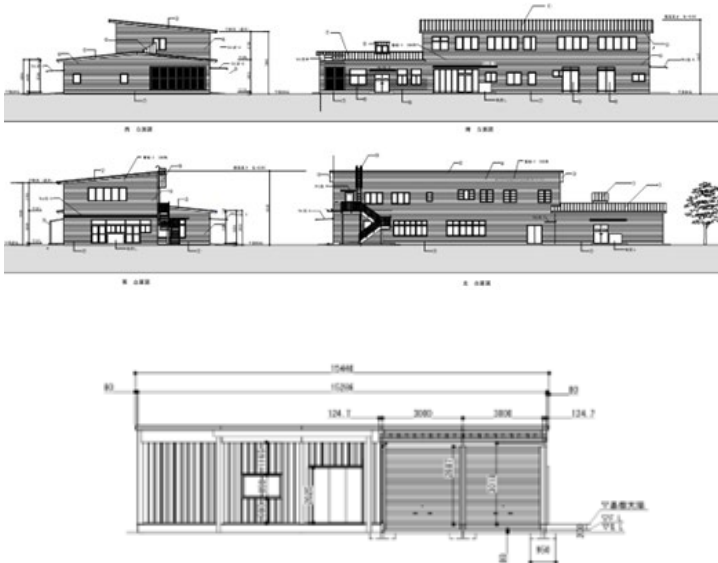
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：移住・関係人口創出・人材確保強化プロジェクト

新規

申請者	宮崎県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	328,185千円 (120,739千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・効果的な情報発信と移住相談体制強化のためにLINEを構築するとともに、ユーザー分析に基づいたニーズに合わせたイベント等の実施、首都圏でのリアルな交流拠点の設置により、若者の移住促進・関係人口創出を図る。 ・UIターン希望者と県内企業のマッチング支援、産学官連携による仕事体験や企業のインターンシップを支援し、県内就職に繋げるとともに、外国人材を対象とした県内企業の求人情報の集約やマッチング支援、マッチング後のフォローアップにより県内企業の外国人材の雇用を支援することにより、産業人材の確保を図り地域経済の拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 若者に情報を届ける接点が不足しているため、利用率の高いLINEにAI相談等の機能を備え、移住検討層を可視化するとともに、首都圏でのイベントや対面での相談会を開催する。また、県内就職においては、専任コーディネーターが求職者と企業を繋ぎミスマッチを解消するとともに、インターンシップ推進により企業の魅力を発信する。加えて、外国人材獲得と定着に向けては、海外送出機関と県内企業のマッチングの機会を設けるとともに、ベトナム等との連携を強化し安定的な人材確保を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・LINE構築等による若者の関係人口創出（委託料）59,506千円 ・キャリアコンサルティング等による県内就職支援（委託料）4,718千円 ・学生による企業取材及び魅力発信による人材確保（委託料）9,937千円 ・高等教育機関のキャリア教育支援（補助金）4,000千円 ・外国人材を求める県内企業等へのマッチング支援（委託料）10,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①社会増減数（16歳～24歳）（+1,973人） ②県外からの移住世帯数（+90世帯） ③ふるさと宮崎人材バンクを通じた県内就職者数（+30人） ④大学生等の県内出身者県内就職率（+3%） ⑤外国人材マッチング件数（+90件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.miyazaki.lg.jp/so_goseisaku/kense/sogoseisaku/chiho_sosei/20260622191453.html

申請者	宮崎県宮崎市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	131,051千円 (47,657千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	多様な主体が対面で交流できる拠点を整備・運営し、ビジネスマッチングやピッチイベント等を通じて、ローカルスタートアップの創出と地域企業のイノベーションを推進する。また、実践的な学びの機会を提供することにより、地元企業の経営基盤の強化と生産性の向上を図るほか、ライフステージや価値観に応じた働き方を選ぶことができる就労環境づくりを推進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 民間事業者、起業家、学生などの多様な主体がリアルに交流できる拠点を運営し、ビジネスマッチング機会の提供等を行うことに加え、市内の中小企業の持続的な成長を実現するため、事業立案等に関する講座を開催する。 また、経済団体などを対象としたセミナー等の開催により、若者や女性が働きやすい就労環境づくりを推進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○交流・共創事業 ・宮崎オープンシティ推進協議会への補助金：6,000千円 ○みやざき創業アカデミー事業 ・スクール開講に係る委託料 4,952千円 ○若者と女性に選ばれる企業づくり推進事業 ・セミナー等の開催に係る委託料 5,186千円						
主なKPI	①法人市民税の調定状況（+203,049千円） ②みやざきイノベーション共創拠点におけるビジネスマッチングの件数（+45件） ③みやざきイノベーション共創拠点におけるセミナーやイベント等の開催数（+36件） ④改善したインターンシッププログラムを実施した企業数（+30社） ⑤若者と女性に選ばれるための取組を新たに行った企業数（+19社） ⑥宮崎市移住センターへの移住相談件数（+300件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.miyazaki.miyazaki.jp/city/plan/6th_generalplan/6th_citymasterplan/412200.html

申請者	宮崎県宮崎市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	610,700千円 (384,000千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	動物管理棟を新設し、来園者が動物の生態や動物福祉の取り組みについて、実際の体験を通じて学ぶことができるサマースクールなどの実施を可能とすることにより、他県の動物園にはない魅力的な観光資源としてブラッシュアップを図り、収益性を向上させ持続可能な観光地域づくりの実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 園内で飼育されている動物の治療施設や会議室等の機能を備えた動物管理棟を新築し、動物の実際の治療の様子の見学や獣医師や飼育員による繁殖活動に関する講義の実施など、新たな体験メニューを作成する。また、園内で飼育されている動物の餌の調理施設や餌の保存倉庫の機能を備えた給餌プレハブ棟を整備し、それぞれの動物に応じた餌の調合や調理などを来園客自身が体験することができる体験メニューを作成することにより、更なる誘客を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○フェニックス自然動物園動物管理棟新築工事 ・建築工事費 172,500千円 ・電気設備工事 38,700千円 ・機械設備工事 53,900千円 ○園内電気機械設備工事 ・電気設備整備工事 61,800千円 ・機械設備整備工事 13,600千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市内の観光消費額（+252.5億円） ②宮崎市フェニックス自然動物園の入園者数（+48,843人） ③体験型コンテンツの開催回数（+23回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.miyazaki.miyazaki.jp/city/plan/6th_generalplan/6th_citymasterplan/412200.html

事業概要：みやざき未来人材・産業共創拠点形成プロジェクト

新規

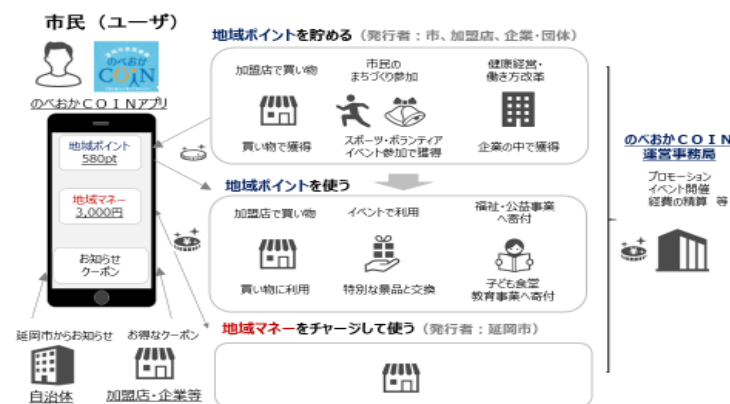
申請者	宮崎県宮崎市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,703,851千円 (0千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・宮崎科学技術館を拠点として、大学・企業・スタートアップが日常的に交流する環境を形成し、地元企業の技術発信、共同研究、ビジネスマッチング等を継続的に創出することにより、地場産業の高付加価値化と取引機会の拡大を図る。 ・産学官連携による展示・発表・交流イベントの開催により、企業の技術理解の促進や認知度向上、企業間連携の誘発を図るとともに、来館者の増加による周辺消費の喚起や新たなビジネス機会の創出を通じて、地域経済への波及効果を生み出す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 宮崎科学技術館の展示設備及びプラネタリウム機器について、展示構成と機能の再編により、段階的な学びを社会実装へと接続する構造へ機能を高度化する。 現在の常設展示は、光・音・力・電気等の科学原理を個別に体験できる装置型展示（真空落下実験装置等）が中心であり、体験がその場で完結する構成となっている。本事業では、これらを成長産業である「宇宙科学」「生命・医学」「環境・エネルギー」の三分野に再編し、複数の展示を横断して自ら問いを立て、観察・実験・考察へと発展できる探究型展示へ刷新する。 あわせて、展示エリア内に発表・解説スペースを組み込み、学校利用時の事前学習・振り返り活動や、大学・企業との連携プログラムを実施できる構成へ転換するほか、レイアウトの再構成により機能的な学習動線を確保する。 また、プラネタリウムについては、投影機器を高精細映像が可能なものに変更し、教育番組の充実を図るとともに、講演・夜間活用等の多目的利用を可能とし、来館動機の拡大と滞在時間の延長を図る。 本事業を通じて、子どもから大人までが科学技術を段階的に学び、本物に触れながら理解を深める環境を整備することにより、科学技術分野への継続的関心の形成から専門性の深化、地域での活躍へとつながる人材の成長過程を支え、地域産業を支える人材基盤の強化に資する拠点を構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 令和8年度は基本計画の策定を予定しており、交付対象事業経費は無し。						
主なKPI	①新規学卒者（大学等）の県内就職率（＋4％） ②人材育成プログラム参加者数（＋400人） ③科学技術館と宮崎大学等の高等教育機関やMOCとの連携事業実績（＋50件） ④来館者数（＋63,234人） ⑤利用料金・関連収入額（＋10,249千円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.miyazaki.miyazaki.jp/city/plan/6th_generalplan/6th_citymasterplan/412200.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：地域経済の「成長」「分配」、及び地域通貨を活用した「域内消費」の好循環等実現プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	宮崎県延岡市		初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度		期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	332,261千円 (81,663千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型		事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	地域内企業の成長、分配を促進し、加えて、分配された所得の支出を域外消費から域内消費へと転換を誘導することで、域内経済の好循環を生み出し、住民が日常生活を送るために必要な各種サービス産業を維持するための経済規模を実現する。併せて、市民のまちづくりへの参画を促進するための住民の主体性や信頼性・絆を高める「ソーシャルキャピタル」をより高めていくことで、経済的自立、市民との共創に基づく持続可能なまちづくりを目指す。			
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 1.一定規模の経済活力の維持（「成長」「分配」「域内消費」の好循環）を実現するための事業 2.ソーシャルキャピタルを高めるための事業 3.1及び2を推進するためのツール（地域通貨制度）の活用推進			
	【R8年度事業 経費内訳】 ・省力化・事業拡大・新分野進出支援事業（補助金10,000千円、事務費、広告費等233千円） ・スタートアップ支援事業（補助金10,075千円） ・デジタル人材育成、副業、兼業人材の活用支援事業（委託費15,860千円、事務費297千円、補助金500千円） ・地域通貨「のべおかCOIN」の本格運用事業（委託費36,760千円、マネーチャージ手数料1,320千円） ・「成長」「分配」及びのべおかCOINを活用した地域経済の好循環を推進するための経費（運営費：6,618千円）			
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①支援事業者の付加価値額向上率（+5%） ②「のべおかCOIN」マネーチャージ総額（+8.6億円/年） ③事業者支援の件数（+65件） ④デジタル人材研修等の参加人数（累計490人）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.city.nobeoka.miyazaki.jp/soshiki/1/50154.html

事業概要：2027年を契機とした観光・歴史・アスリートなどあらゆる地域資源を活用した関係人口増加プロジェクト

継続

申請者	宮崎県延岡市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	182,319千円 (51,857千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・国スポ・障スポの開催、西南戦争150年及び祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク登録10周年という三つの大きな節目が2027年に到来することを観光誘客や関係人口拡大の大きなチャンスと位置づけ、市内各所でハード・ソフト両面のプロジェクトを集中的に行う。これらの取組により、2027年以降も観光誘客や関係人口を大きく伸ばす土台を築き、今後より強力に地方創生を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・西南戦争150年を契機とする観光誘客・関係人口の大幅増を図るため、関連する機運醸成イベントを開催する。また、施設改修等を行う。 ・ユネスコエコパーク10周年を契機とした地域資源の魅力向上、情報発信等の事業を実施する。 ・中心市街地の西側で整備が進む文化・スポーツ施設に来場する人の流れを中心に市街地エリアに呼び込むため、新たな仕掛けづくりを行うとともに、まちなかの魅力向上に資する事業を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 1. 西南戦争150年を契機とする観光誘客・関係人口の大幅増を図る事業 委託料等： 4,374千円 2. 西南戦争文化財の魅力発見・発信事業 委託料等： 391千円 3. 祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク登録10周年に向けた取り組み 委託料等： 33,912千円 4. Global Academy-延岡から様々な国を国内留学-の開催 委託料 1,600千円 5. まちなか回遊賑わい新規開業支援事業 補助金等 11,580千円					▲西郷隆盛宿陣跡資料館 ▼ホテルの館 ユネスコエコパーク拠点施設の一つ 	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①道の駅および観光物産ステーション売上高（+171,698千円） ②主要宿泊施設宿泊者数（+12,000人） ③西郷隆盛宿陣跡資料館の年間利用者数（+4,000人） ④ユネスコエコパーク拠点施設等の利用者数（+13,927人） ⑤駅まちエリアにおける通行量（+300人/日）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://isolate.lan.pref.miyazaki.jp/ https://www.city.nobeoka.miyazaki.jp/soshiki/1/50154.html

事業概要：持続可能な地域公共交通再構築事業

新規

申請者	宮崎県延岡市					初回採択回	令和8年1月募集	
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	59,525千円 (2,649千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・AIオンデマンド交通を導入し、公共交通の維持・確保を図ることで、地域内の店舗やサービスを利用できる環境を整備し、地域経済の好循環を促進する。 ・地域の実情に応じた移動手段の導入により、交通弱者の移動手段を確保し、地域における安全・安心な生活基盤を構築する。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 AIオンデマンド交通は、利用者の予約に応じて最適なルートで運行することで、利用者の自宅に近い場所から乗降できる「ドアtoドアに近いサービス」を提供できる。これにより、公共交通の利用促進とサービス維持につながるとともに、運行の効率化による車両の稼働率向上等により、財政負担の増大を抑制しながらサービス向上を図ることができる。 地域での移動手段が確保されることで、高齢者の外出機会の創出、健康寿命の延伸、地域コミュニティの活性化に貢献し、結果として地域全体の活力向上に繋がる。これにより、公共交通が地域社会の基盤として機能し続け、その存続意義をより一層高めることにつながる。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・路線再編検討体制の構築及び北方町における路線再編に係る調査・分析 【委託料】 2,649千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①路線バス、まちなか循環バス、コミュニティバスの年間利用者数（+75,000人） ②実証運行による乗合タクシー等の延べ利用者数（+930人） ③「交通空白」解消に向けた検討を行っているエリア（+2中学校区） ④路線再編に係るワーキンググループの延べ開催回数（+12回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nobeoka.miyazaki.jp/soshiki/1/50154.html	

申請者	宮崎県延岡市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	840,000千円 (13,000千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	九州中央自動車道の整備の進展やTSMC熊本進出に伴う熊本市周辺の人口増を追い風と捉え、九州中央自動車道と東九州自動車道の結末点（延岡JCT・IC）から約5分という好立地に位置する「延岡植物園」を熊本方面のみならず九州全域から多くの観光客を呼び込めるような地方創生交流拠点として再整備するとともに、1,000人以上の学生が通う「九州医療科学大学」にも隣接し、女性からの関心も高いことから、もっと若者や女性が利用したくなるような「緑あふれる楽しい空間」にリニューアルすることで、観光振興等による地域経済の維持・拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 延岡植物園を地元食材等を利用した飲食・物販スペースや、観光バス等も利用できるように駐車場等を有する地方創生交流拠点施設として再整備するとともに、もっと若者や女性が利用したくなるような「緑あふれる楽しい空間」にリニューアルする。 また、市役所内外の既存のソフト事業との連携強化を図り、ハードとソフトを組み合わせた観光施策を展開していく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・地元食材等を利用した飲食スペースや物販スペース、観光バス等も利用できるように駐車場等を有する地方創生交流拠点施設 拠点施設等基本設計委託料 13,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①延岡市観光消費額（+50億円） ②県外からの観光客数（+260,000人） ③延岡植物園来園者数（+16,500人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nobeoka.miyazaki.jp/soshiki/1/50154.html

事業概要：南郷大島魅力創生 美食と癒しのヴィラリゾート整備事業

継続

申請者	宮崎県日南市					初回採択回	令和7年1月募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	698,000千円 (74,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・民間投資により、離島「大島」にヴィラやレストラン、グランピング施設からなるリゾート施設を整備することで、市外からの来訪者を獲得し、観光入込客数の増加を図る。 ・アプリ開発や環境整備によって市内観光拠点への周遊を促進し、観光消費額の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 民間投資により、離島「大島」に宿泊機能・レストラン・Wi-Fi通信設備を備えた宿泊施設を整備し、島内に宿泊施設を中心とした高い付加価値を生むリゾート環境を整備する。 島内散策を促進するためのアプリ開発等により、宿泊を伴う観光客の獲得、さらには市内他の観光拠点への周遊促進を図り、滞在時間を拡大し、滞在型観光を促進する。また、道路環境を整備し、ウォーキングコースとしての利用環境などを整え、来訪者の利便性向上を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・大島の散策ルートのデータ化及びアプリ掲載（委託料） 1,650千円 ・ウォーキングイベントの開催（委託料） 3,350千円 ○拠点整備事業（R7に実施） 大島にヴィラやレストラン、グランピング施設等を整備（民間事業者への補助） ○インフラ整備事業 ・道路整備事業 69,000千円 来訪者の安全確保及び利便性向上を図るため市道の整備を行う						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①日南市観光消費額（+14億円） ②日南市観光入込客数（+42万人） ③大島への入込客数（+3,300人） ④大島の定住人口（+1人） ⑤整備する施設における雇用人数（+13人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nichinan.lg.jp/sos/hikikarasagasu/sogoseisakuka/3/2/1988.html

事業概要：てなんどKOBAYASHI デジタル推進人材育成事業

旧制度（推進）

申請者	宮崎県小林市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	22,770千円 (7,430千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・先端技術を体験する機会を創出により世代間交流の促進や地域経済の活性化を図る。 ・中学生、高校生を対象にしたデジタル推進に資する人材育成を行い、若年層の市内定着とUIターンを促進する。 ・市民団体との連携により、デジタル推進のための人材育成を行い、持続可能なまちづくりを目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 デジタル技術の活用とその普及のために、先端科学に市民が直接触れる機会の創出やデジタル推進人材育成のための授業の実施、地域内での人材育成のための事業を実施する。	   	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○先端技術を体験するイベント（eスポーツや超人スポーツ）の開催 ・委託料 2,700千円 ○市内の中学生・高校生を対象としたデジタル人材育成のための特別授業と連携先の研究室等の現地研修の実施 ・委託料 1,920千円・旅費 240千円 ○デジタル推進人材育成として、大人の社会塾を発展させた社会人がデジタルについて学び・交流する機会の創出（補助金2,570千円）		
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+70人） ②市の施策を通じての移住した世帯数（+15世帯） ③デジタル人材育成のための授業の回数（+5回） ④先端科学体験イベント参加者数（+400人）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kobayashi.lg.jp/soshikikarasagasu/sogoseisakubu/chihososeika/chihososei/11228.html

事業概要：駅周辺中心市街地活性化拠点施設整備事業

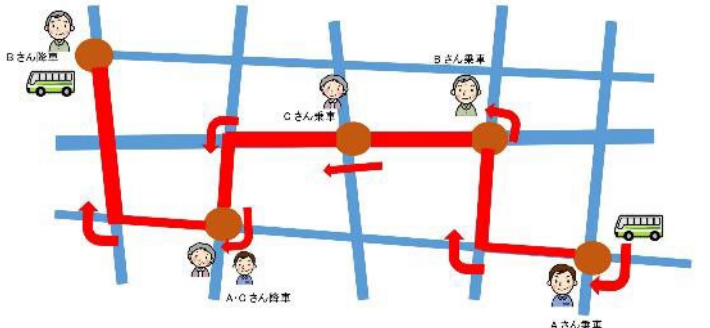
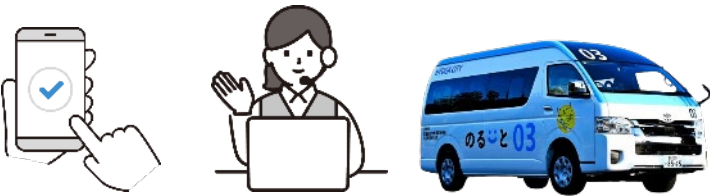
継続

申請者	宮崎県小林市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	694,450千円 (211,600千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・本市の中心市街地にあるJR吉都線小林駅を起点として来街者をまちなかで回遊させる仕組みを構築するため、新たに全天候型の施設（ドーム）を整備することで、駅周辺一帯の付加価値を高め、恒常的にぎわいの創出を図る。 ・JR吉都線を活用した「広域集客を担う施設」として、市外から人の流れをつくることで、地元飲食店・商店への経済的波及効果を見込むことができ、また多様な組織と連携しながら活用することで、地域経済の循環と地域の持続的発展を図り、多世代・多様な人が交流できる拠点として地域全体の魅力向上及び活性化を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市民ワークショップや市場調査を実施しながら、基本構想・計画立案に向けて、市民ニーズの把握・コンセプト共有を図りながら、あわせて地方創生人材の発掘・育成に取り組む。拠点整備については、基本構想をもとにデザインビルド方式にて設計・施工の一括発注を行う。					 イメージ図	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・基本構想・計画立案に関する事業 市民ワークショップ・先進地視察費用（1,600千円） ・地方創生人材の発掘・育成に関する事業 まちづくりに関する外部専門家の招聘・研修会（3,000千円） ・プロモーションに関する事業・広報・PR費（1,000千円） ・市場調査（ニーズ調査）に関する事業・アンケート調査（1,000千円） ・広告収に関する事業 デジタルサイネージシステム（3,000千円） ○拠点整備事業 ・中央ふれあい広場イベントドーム 建築物本体工事（135,000千円） ・中央ふれあい広場イベントドーム 電気・機械設備工事（45,000千円） ・駅南イベント広場実施設計（11,000千円） ・駅北駐車場料金システム設計（11,000千円）						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①中心市街地（駅を中心として半径1キロ圏内にある飲食サービス・小売業）売上高（+50,000千円） ②全天候型イベントドームで開催したイベントの来場者数（+18,840人） ③まちなか新規創業者数（+10人） ④JR吉都線小林駅の利用者数（+750人） ⑤イベント収益（+14,000千円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kobayashi.lg.jp/shikikarasagasu/sogoseisakubuchihososeika/chihososei/11228.html

申請者	宮崎県小林市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	415,980千円 (110,800千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	小林市健幸のまちづくり拠点施設（複合型総合体育館）の整備と国スポ・障スポの開催を契機として「スポーツ」を新たな観光資源と位置付け、各種大会誘致や合宿誘致を促進し、交流人口を増やすことで、地域経済の活性化を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 整備中の複合型総合体育館の供用開始に合わせた、ソフト事業による市民の健康増進を図り、公園内の既存施設の機能向上によるスポーツのまちこばやしの魅力向上を図ることで、スポーツを新たな観光資源と位置付け交流人口の増加による地域活性化を目指す。					 ⇐：陸上競技場、野球場、テニスコート サッカー場 大型遊具、 屋内プール アスレチック遊具 多目的広場 ウォーキングコース が整備された 小林市総合運動公園  ⇒：R8、3の完成を目指す「体育館機能」 「健康づくり 機能」「子育て支援機能」 を有する複合型体育館	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・市民向け健康教室開催事業 1,200千円 ・情報発信講習会開催事業 1,100千円 ・オープニングイベント開催事業 5,000千円 ・アスリート弁当開発事業 500千円 ○拠点整備事業 ・公園内施設案内看板設置工事 27,000千円 ・公園外案内板改修工事 35,000千円 ・防球ネット増設実施設計委託 9,900千円 ・道路標示看板設計委託料 1,100千円 ○インフラ整備事業 運動公園へのアクセスを向上させるための道路拡幅事業 ・道路改良工事 30,000千円						
主なKPI	①観光消費額（+15億円） ②各種大会開催回数（+140回） ③運動公園利用者人数（+34万人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kobayashi.lg.jp/shikikarasagasu/sogoseisakubuchih/ososeika/chihososei/11228.html

事業概要：AIを活用した公共交通サービスによる持続可能な地域づくり実現プロジェクト

継続

申請者	宮崎県日向市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	177,447千円 (59,447千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	AIオンデマンド交通を導入し、「移動したい人」が、「行きたい時」に、「行きたい場所」に移動できるような利便性の高い公共交通システムを構築する。 子育て世帯や来訪者など、新たな需要を掘り起こし、利用者増加につなげ、公共交通の持続的な運営を可能とする。 市民が「住み続けたいまち」づくりに取り組むとともに、新しい人の流れで交流とにぎわいがあるまちづくりを進め「人口減少の抑制」の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 デジタルを活用した運行システムやタクシー配車システムを導入し、利便性の向上を図る。 実証を行い、乗降場所や適切なルート設定を行う。また、これまで公共交通機関の乗降場所がなかった観光地における乗降場所を設置するとともに、GTFSデータを活用しAIオンデマンドバスの運行情報と他の公共交通機関の乗換案内などをスマートフォンから検索可能とすることで、観光客の利便性を向上させ、新たな誘客を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・AIオンデマンドバス実証経費等（委託料等）52,704千円 市内市街地を中心にAIを活用した予約型のオンデマンドバスを運行し、住民や来訪者に対し利便性の高い地域公共交通を提供する。 ・貨客混載、経路探索アプリ活用経費（委託料）6,622千円 バスの空きスペースでの貨物運送を可能性調査を行うほか、利用者がアプリを活用した経路探索の提供を行う。					 スマホで事前予約 ICT活用の納車システム	
主なKPI	①日向市の人口（▲1,703人） ②AIオンデマンド交通利用者数（+40,500人） ③AIオンデマンド交通アプリ予約率（+60%） ④AIオンデマンドバスの市外在住者の利用者数（+2,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.hyugacity.jp/sp/display.php?cont=160822094103

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：ひゅうがの魅力再発見、賑わい創出プロジェクト

新規

申請者	宮崎県日向市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	221,764千円 (62,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域資源の付加価値向上やスマートツーリズムの推進、観光客等の満足度向上を図り持続可能な観光地づくりを推進する。 ・本市の魅力を積極的に発信し、市民の誇りと愛着を育むことによって若者の市外流出を抑制し、地域経済の安定と活性化を図る。 ・積極的なシティプロモーションにより、交流人口・関係人口の拡大やUターン促進、観光の持続的な発展を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 当市の自然環境や住みやすさ、豊かな食（農水産物等）を活かした特産品などの魅力を発信する総合的なプロモーションのほか、持続可能な観光地域づくりの推進、観光DXの推進やデジタルマップの導入等の観光客等のウェルビーイングを高める施策を展開し、「住み（つづけ）たくなる観光地」づくりに取り組む。また、移住プロモーションによって移住検討者への認知度の向上や移住者数の増加を図る。あわせて、新たに移住コーディネーターを配置するほか移住ツアー・交流会を開催することにより、当市での生活を体験いただく機会を創出する。これらにより、誘客（来訪）から滞在・体験・消費・再訪・関係人口化・移住定住へとつながる導線を構築し、人口減少の抑制と地域の活性化を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・インフルエンサー等情報発信支援事業（委託料）10,000千円 ・認知拡大シティプロモーション事業（委託料）20,000千円 ・観光動向調査業務（委託料）1,500千円 ・デジタルマップ作成及びデジタル周遊ラリー運営業務（委託料）9,400千円 ・インバウンド誘客促進事業（委託料）5,500千円 ・移住プロモーションにかかる経費（委託料）4,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（＋11億5,500万円） ②観光入込客数（＋40万5,000人） ③市内宿泊者数（＋5万9,400人） ④移住サイトの年間ユーザー数（＋1,500人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.hyugacity.jp/sp/display.php?cont=160822094103

事業概要：“集う・遊ぶ・憩う・発信する”～海辺の多様なライフスタイルを生み出す
お倉ヶ浜にぎわい創出拠点整備事業

新規

申請者	宮崎県日向市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	300,000千円 (300,000千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・お倉ヶ浜ビーチを「サーフィンの聖地」から、多様な世代が心地よく過ごせる海辺の遊び場・交流の場へ進化させる。 ・「集う・遊ぶ・憩う・発信する」機能を持つ多彩なにぎわい拠点を整備し、滞在時間延長や交流人口拡大を促進。 ・利用者の行動変容を促し、年間を通じたにぎわい創出と観光消費の増加、地域経済の活性化、持続可能な観光地づくりを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 日向市における海辺の象徴的な地域資源「お倉ヶ浜ビーチ」に、飲食やイベントの開催スペース等を有した施設を整備し、サーファーのみならず、多様な観光客等の誘客を図る。駐車場にキャッシュレス対応のパーキングシステムやEV重点設備を整備し、来訪者の利便性を図る。 また、多言語デジタルサイネージ等を整備し、外国人利用者の受け入れ環境を充実させ、インバウンド等の利用者の増加を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 〇お倉ヶ浜ビーチに『にぎわい創出拠点』を整備 300,000千円 ・「ビーチ交流拠点施設（にぎわいの主たる集客・滞留機能）」の新築 飲食・イベント・ワークスペース等、多世代が集う施設環境整備 ・「マリンレジャー拠点施設（ビーチ利用の受入・環境基盤機能）」の整備 既存ビーチハウスの活用による利用案内・安全管理機能の整理、排水処理の一体化による環境負荷軽減、施設内外空間の活用や視認性向上演出 ・駐車場の有料化に伴う設備整備 キャッシュレス対応パーキングシステム、EV充電設備、区画再編 ・防災・インバウンド対応強化 多言語デジタルサイネージ、防災情報発信、外国人案内表示充実						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市全体における観光消費額（+19.25億円） ②お倉ヶ浜における観光入込客数（+9.4万人） ③ビーチ交流拠点施設での年間販売消費額（+960万円） ④にぎわい創出拠点利用者満足度（+90%） ⑤にぎわい創出拠点年間駐車場使用料収入（+1,260万円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.hyugacity.jp/sp/display.php?cont=160822094103

事業概要：自然環境を活かした魅力あるツーリズム推進事業

新規

申請者	宮崎県、串間市					初回採択回	令和8年1月募集																																
事業計画期間	R8-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	605,880千円 (16,361千円)																																
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			✓																															
目的・効果	・観光振興を通じた地域活性化を実現するため、本市の豊かな自然や観光資源を活用した観光誘客促進・体験プログラム創出・イベント開催等の取り組みをさらに推し進め、年間を通じて国内外から観光客が訪れる、特色ある観光地づくりを目指す。 ・本市の魅力を多様なメディアを通じて広く情報発信することで、観光誘客につなげるとともに、国際的な交流・移住・定住にもつなげる。																																						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 国内外に向けて自転車・バイク・サーフィン等の自然を活かしたツーリズムを推進するにあたり、自転車・ツーリングに強いインフルエンサーを起用したプロモーションや自転車PR・ツーリングPR動画制作、自転車協議チームに対する合宿誘致や合宿にきていただいたチームへの宿泊助成などの支援を実施しつつ、観光地沿線道路の道路改良や防護柵設置、標識更新などの環境整備を行う。これらの取組により、本市への新規・リピーター来訪者の増加させ、本市の観光業や飲食・お土産等の地場産品業が自主的に外貨を稼げる体制づくりの構築につなげる。					<ソフト事業> 串間市：ツーリズムコンテンツの情報発信、国スポを契機とした合宿誘致、エコツーリズム推進事業 インフラ整備事業 宮崎県：トンネル照明LED化、防護柵改修、交通安全対策、道路改良、案内板・標識更新 崎県本事務所 <table border="1"><thead><tr><th>事業区分</th><th>品目</th><th>単価</th><th>数量</th><th>金額</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">ソフト事業</td><td>1. ツーリズムコンテンツの情報発信</td><td>4,961千円</td><td>1</td><td>4,961千円</td></tr><tr><td>2. 国スポを契機とした合宿誘致</td><td>400千円</td><td>1</td><td>400千円</td></tr><tr><td rowspan="2">拠点整備事業</td><td>3. 幸島公衆トイレのサイクリスト向けの休憩所・情報発信スペース新設</td><td>-</td><td>1</td><td>-</td></tr><tr><td>4. 県道都井岬線道路整備</td><td>2,000千円</td><td>1</td><td>2,000千円</td></tr><tr><td rowspan="2">インフラ整備事業</td><td>5. 国道448号道路整備</td><td>6,000千円</td><td>1</td><td>6,000千円</td></tr><tr><td>6. 効果促進事業</td><td>3,000千円</td><td>1</td><td>3,000千円</td></tr></tbody></table>		事業区分	品目	単価	数量	金額	ソフト事業	1. ツーリズムコンテンツの情報発信	4,961千円	1	4,961千円	2. 国スポを契機とした合宿誘致	400千円	1	400千円	拠点整備事業	3. 幸島公衆トイレのサイクリスト向けの休憩所・情報発信スペース新設	-	1	-	4. 県道都井岬線道路整備	2,000千円	1	2,000千円	インフラ整備事業	5. 国道448号道路整備	6,000千円	1	6,000千円	6. 効果促進事業	3,000千円	1	3,000千円
	事業区分	品目	単価	数量	金額																																		
ソフト事業	1. ツーリズムコンテンツの情報発信	4,961千円	1	4,961千円																																			
	2. 国スポを契機とした合宿誘致	400千円	1	400千円																																			
拠点整備事業	3. 幸島公衆トイレのサイクリスト向けの休憩所・情報発信スペース新設	-	1	-																																			
	4. 県道都井岬線道路整備	2,000千円	1	2,000千円																																			
インフラ整備事業	5. 国道448号道路整備	6,000千円	1	6,000千円																																			
	6. 効果促進事業	3,000千円	1	3,000千円																																			
主なKPI	①観光消費額（宿泊）（+1億円） ②観光入込客数（+ 60,000人） ③スポーツ合宿延べ宿泊者数（+210人）					URL	令和8年7月公表予定																																
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL																																	

事業概要：地域資源高付加価値化による地域経済活性化事業

継続

申請者	宮崎県西都市					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	154,611千円 (21,460千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	ターゲットを見定め、観光誘客と観光消費につながる環境整備や設計を行うとともに、地域資源の発掘や開発、磨き上げを行うことで付加価値を高め、外貨を稼ぐ仕組みを作り、地域の課題解決や地域経済の活性化につなげることを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 マーケティング調査・戦略策定事業によりターゲットを見定め、観光情報一元化・発信強化事業により市内の観光資源や事業者を紹介する特設Webサイトを開設し、デジタル化に対応した情報発信を行う。また、観光コンテンツ開発事業・地域商社事業により、地域資源を活用した観光コンテンツ・地域産品の開発・磨き上げを行い、あわせてブランディング事業を実施することにより、効果的なPR・販路拡大に取り組む。また、観光により地域の「稼ぐ力」を引き出し、地域全体として利益を生み、地域を活性化することを目的に「日本版DMO登録制度」登録へ向けた取組も実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・ブランディング事業 ブランディング業務委託費 20,460千円 ・「日本版DMO登録制度」登録へ向けた取組 「日本版DMO登録制度」登録へ向けた取組支援業務委託費 1,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光客一人あたりの消費額（+1,985円） ②開発した観光コンテンツの売上額（+3,500千円） ③開発した地域産品の売上額（+3,500千円） ④「西都原ガイダンスセンターこのはな館」来館者数（+2.50万人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.saito.lg.jp/shiseigyosei/keikau_hoshin/post_1423.htm

事業概要：広域連携による日本遺産を活用した観光コンテンツ整備事業

継続

申請者	宮崎県西都市ほか 3 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	43,522千円 (17,870千円)
事業類型	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業		
目的・効果	・日本遺産を活用した商品・旅行商品の開発や積極的な情報発信を進めることにより、観光消費額の増加を図る。 ・AIやデジタルを活用した観光コンテンツの活用により、二次交通の課題を克服し、新たな観光客の誘客、観光消費額の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 マイカーやレンタカー利用観光客を誘導するため、AI活用モデルコース 検索システムを活用し、デジタルスタンプラリーなどの日本遺産イベントを 造成するとともに、PR環境も併せて整備する。 また、日本遺産という地域資源を生かし、新商品の開発及びテスト マーケティングを実施するほか、旅行商品を造成する。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○地域資源を活用した日本遺産新商品開発事業 ・新商品開発（補助金）1,000千円 ・テストマーケティングの実施 1,000千円 ○日本遺産を核とした旅行商品造成事業 ・旅行商品開発業務（委託料）2,400千円 ○日本遺産イベント造成事業（委託料）9,219千円 ○日本遺産PR環境整備事業 4,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画にお ける「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+237.5億円） ②観光入込み客数（+100万人） ③日本遺産関連施設入場者数（+3万人） ④新商品開発数（+12件） ⑤協議会ホームページPV数（+7,000件）					URL ※交付金の具体的使途・実 施体制・効果検証の結果及 び改善方策への反映が記載 されているURL	https://www.city.saito.lg.jp/shiseig_yosei/keikau_hoshin/post_1423.htm

※宮崎県西都市、宮崎市、新富町、高鍋町の広域連携事業

事業概要：まちの賑わい創出事業

継続

申請者	宮崎県西都市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	109,670千円 (36,960千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・まちづくり会社を中間管理事業者としたサブリース事業により空き家・空き店舗の利活用を促進 ・マルシェによる賑わい創出事業を通じて中心市街地を活性化 ・商業施設の集積による地域経済の活性化とコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを推進						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 都市機能誘導区域内を中心に空き家・空き店舗等の物件調査を行い、家主と交渉し、10年～15年程度のマスターリース契約を締結することで空き家・空き店舗を整備・利活用可能な状態にする。 利用可能物件の改修と創業希望者が利用しやすい物件の詳細情報を出0田ベース化するとともに、Googleマップの拡張機能を活用して可視化する。 また、定期的にマルシェを開催し、まちの賑わいを創出するとともに、AIカメラによる通行量調査を実施し、営業時間やスタッフ配置など経営の高度化・効率化を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・まちの賑わい創出事業（物件確保） 都市機能誘導区域内を中心に物件調査、家主交渉、賃貸契約の締結、借主確保のための広告、及びAIカメラの設置・データ分析に要する経費（委託料）12,540千円 ・まちの賑わい創出事業（マルシェ） マルシェ開催に要する経費（委託料）24,420千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①都市機能誘導区域内人口（+45人） ②都市機能誘導区域内での創業件数（+22件） ③事業により調達した物件数卵（+22件） ④1日あたりの平均歩行者数の推移（+300人） ⑤マルシェ等イベント延べ参加者数（+28,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.saito.lg.jp/shiseigyosei/keikau_hoshin/post_1423.htm

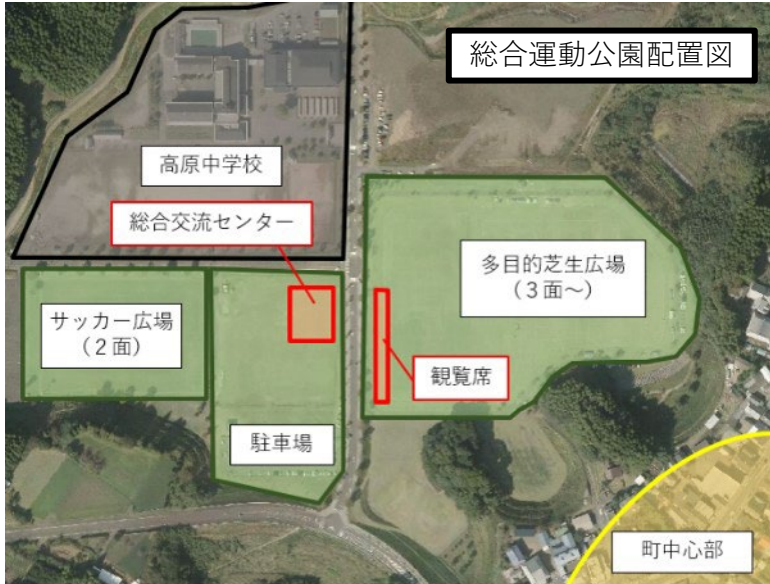
事業概要：第6セクターによる三股町交流拠点施設整備事業

継続

申請者	宮崎県三股町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,032,920千円 (349,585千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	地域密着型官民連携事業として、町民ニーズから導き出された「学び」、「子ども子育て」、「健康づくり」及び「買い物と食」の4つの機能を複合的に導入し、「三股の暮らし」をターゲットに、暮らしの魅力を高め多くの町民が活躍できる新しい拠点を整備する。 交流拠点の利用を通して、新しい価値の創造とコミュニティの創出が自然自発的に発生することに寄与する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 DBO方式を前提とした本事業の実施について、公募型プロポーザル方式により選定された事業者等により、「学び」「子ども子育て」「健康づくり」「買い物と食」の4つの機能を複合的に導入した施設を新たに整備する。 また、利便性及び快適性を向上させるため周辺道路の整備と本事業の継続的、安定的かつ発展的な運営に関する事業を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・まちづくり活動推進事業及び調査分析業務（委託料）7,000千円 ・プロジェクトマネジメント業務（委託料）7,061千円 ○拠点整備事業 ・設計業務 156,857千円 ・工事監理業務 5,334千円 ・建築物本体工事 157,333千円 ○インフラ整備事業 ・拠点施設周辺道路設計業務 16,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①年間社会動態増減数（+46人） ②交流拠点施設周辺の歩行者通行者数（+46人） ③町公式LINE登録者数（+3,500人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.mimata.lg.jp/contents/2529.html

事業概要：高原町総合運動公園・総合交流センター整備事業

新規

申請者	宮崎県高原町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	767,632千円 (77,632千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・サッカーコート5面を有する総合運動公園に、クラブハウス機能や宿泊機能をもった総合交流センターや、グラウンド側に観覧席を整備することで、これまで取りこぼしていた九州圏域の規模の大きな学生サッカー大会及びプロ、社会人、学生チームの合宿の誘致を行う。 ・総合交流センター内にジョブスペース機能を設け、町内外の働き手と事業主、町内企業同士や町内外の企業を繋げることで創業・起業の機会を創出し、スタートアップ企業には個室ブースやレンタルオフィスの貸出などの支援を行うことで、町内での雇用創出を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・観覧席を新設し、選手・同行者の安全確保や利便性向上を図る。 ・総合交流センター内に会議室や交流スペースを設けることで、大会運営を円滑にし、選手保護者等の同行者の滞在場所として活用し、サッカー大会会場としての魅力を高める。 ・スタジアムやトレーニングルームを設けることで荒天時対応や子どもの宿泊部屋として活用し、引率者用宿泊部屋、シャワールーム、キッチンスペースを設け、運動公園内で完結した合宿プランを提供可能にする。 ・ジョブスペース（インキュベーションスペース、個室ブース、レンタルオフィス等）を整備し、働き手と事業主のマッチング、創業・起業の拠点とする。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業（対象外経費） ・地域活性化起業人事業（活動費（報償費、委託料等））4,000千円 ○拠点整備事業 ・観覧席 57,797千円（うち対象経費 57,632千円） ・総合交流センター 実施設計委託 20,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+270百万円） ②プロアスリートイベント誘致件数（+6件） ③学生チーム等の合宿による宿泊人数（+1,000人） ④新規事業所雇用者数（+69人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年6月公表予定

事業概要：綾手づくりほんものセンターを起点とする中心市街地活性化事業

新規

申請者	宮崎県綾町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	116,044千円 (11,044千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・綾手づくりほんものセンターを中心市街地の起点とし、まちなかに人の流れをつくり、賑わいを創出していく。 ・綾手づくりほんものセンターと中心市街地の魅力度の向上や活性化を図ることで、その周辺地域や観光施設への賑わいの波及効果も高め、持続可能な活気あふれるまちづくりを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「綾手づくりほんものセンターを起点とした中心市街地活性化」のために、ほんものセンターとその周辺を再整備し、町民・観光客が中心市街地に足を伸ばす仕掛けづくりを行う。ほんものセンターについては、デットスペースの活用の見直しを行い、店内面積を拡大するほか、レイアウトを改良する。 名水庭園は、トレーラーハウスや屋根付きの休憩・食事スペースを設けるほか、オンデマンド交通の乗降場所を確保する。 また、水脈工事により、名水を提供できる環境を整備することで定期来訪客を確保し、町内観光施設等への波及効果を生み出す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・綾手づくりほんものセンター再整備に関する設計委託 11,044千円 ■設計委託内容 綾手づくりほんものセンター施設本体（店舗内レイアウトを改良し売り場面積を拡大） 綾手づくりほんものセンター内名水庭園（休憩スペース、水脈工事、水路整備などグリーンコリドー（回廊）の一つとして再整備）						
主なKPI	①綾町の観光消費額（+250,366千円） ②綾手づくりほんものセンターにおけるイベント開催日数（+13日） ③綾町への観光客数（+179,600人） ④中心市街地の空き店舗活用数（+9店舗）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年6月公表予定

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

申請者	宮崎県高鍋町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	29,662千円 (10,072千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・ 中心市街地に日中の徒歩回遊を創出して経済性を向上させ、BtoC産業の活性化や新規立地による町民所得の向上を目指す ・ 「経済的動機」と「社会的動機」を組み合わせ、車社会特有の心理的障壁（スティグマ）を解消して歩行空間を市街地へ転換するとともに、「夜の街」という既存のイメージを「昼も稼げる街」へと刷新（リ・ブランディング）する。 ・ また、人流データの可視化とリスクゼロの「事後投資型インセンティブ」の導入により、既存店の高付加価値化とスタートアップの新規立地を強力に促進し、投資と消費が循環する持続可能な地域経済を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ①【経済的動機】たかなベポイント アプリで徒歩回遊に対しポイントを付与。参加者数・居住地制限なし。 リスクゼロの「事後投資型インセンティブ」と広域商圈を持つ業種をフックに で民間の稼ぐ力を引き出し経済を循環させる。 ②【社会的動機】キッズ健幸アンバサダー 小学生に「市街地徒歩回遊で完成する宿題」を課し、多世代を街へ誘導。 「夜の街」の固定観念を打破し、日中における市場性を回復させる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・たかなベポイント事業 ・たかなベポイントシステム構築・運営（使用料）6,932千円 ・店舗配布用たかなベポイントポスター・のぼり（広報費）220千円 ・キッズ健幸アンバサダー事業 ①健康運動教室（謝礼・委託料）708千円 ②オリンピック・パラリンピアン運動体験（謝礼）550千円 ①・②の運営：1,662千円（講師旅費含む）						
主なKPI	①15歳以上人口一人当たりの所得金額（不労所得を除く）（+140千円増加） ②空き店舗対策事業累積活用件数+商業及びサービス業累計新規立地件数（+9件） ③中心市街地日中回遊ユーザー数（+320人／日） ④インセンティブの民間提供割合（+60％） ⑤たかなベポイント事業に参加する店舗数（+90店） ⑥キッズ健幸アンバサダーが取り組む宿題に同行した、児童一人当たり大人の数（+2人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.takanabe.lg.jp/soshiki/chiikiseisaku/7/1/5117.html

事業概要：次世代人材育成と地域資源循環による持続可能なまちづくり事業

新規

申請者	宮崎県高鍋町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	51,112千円 (17,068千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	産業の再生：激減した天然カキ等の地域資源を、科学的知見に基づき「稼げる産業」へ再構築する。 教育の転換：明倫堂に代表される伝統的な教育資源を基盤とし、その精神や理念を現代的に再解釈することで、起業家精神やビジネス創出力を育む実践的な教育へと発展させる。 流出の阻止：若者が町内で「挑戦・収益化」を経験できる場を作り、地域起業家数を増加させる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ①蚊口浜環境再生・産業化基盤構築事業 水質調査・藻場再生・リーフボール設置により、カキ産業の復活に向けた基盤を整備。 環境の経済化：ブルーカーボン（炭素クレジット）の活用や、スタディツアー造成による新ビジネス創出。 ②明倫堂を継承する起業家・人づくり・まちづくり推進事業 歴史を「働く意味」や「事業創出」に繋げる独自のキャリア教育を小中高で展開。実践型学習：法人設立、原価計算、空き家活用など、子どもたちが「地域経済」を実体験する機会を創出。 ③蚊口浜価値創造プラットフォーム実装事業 「蚊口浜未来産業ビジョン」を策定し、町内外から人・投資を呼び込む。 スモールビジネス実践：高校生による有償マーケットや体験プログラムの実施を通じ、創業意欲を直接醸成。					事業イメージ  ①蚊口浜環境再生・産業化基盤構築事業	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・ブルーカーボン・環境再生人材育成事業（委託料）2,728千円 ・明倫堂を継承する起業家・人づくり・まちづくり推進事業（委託料）9,120千円 ・次世代育成・商業のまち醸成事業（委託料）2,000千円					 ②明倫堂を継承する起業家・人づくり・まちづくり推進事業	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における起業家数（+25人） ②「蚊口浜価値創造プラットフォーム」を通じた、地域資源の事業化・社会実装プロジェクト数（+5件） ③環境再生・ブルーカーボン分野に継続的に関与し、将来稼げることを提案する担い手数（+60人） ④起業・まちづくりに関する実践型教育プログラムの実装件数（+10件） ⑤SDGs未来都市 次世代育成・商業のまち醸成のための親世代の行動変容割合（+750%） ⑥新たに創出された実践型・有償事業数（+6件）					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.takanabe.lg.jp/soshiki/chiikiseisaku/7/1/5117.html

事業概要：地域産業の魅力化と地域ビジネス創出事業

継続

申請者	宮崎県新富町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	76,173千円 (22,907千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・町内の商工業者や農業経営者の多くは、将来的に事業承継する意向が未定で、担い手の確保が喫緊の課題であり、町で育った若者が町を離れる現状も課題となっているため、本事業においては、既存産業の魅力化や新しいビジネスの創出を行い、若い世代の移住や定住を促進し、持続可能な地域を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 若者が魅力を感じることのできる仕事や働く場を創出するため、4つの事業を展開する。以下の事業費をNPO法人に補助金を交付。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○新店舗参入環境創出事業 ・事業運営経費（人件費）2,040千円 ・チラシ/PR資料デザイン費、講座開催委託費(委託料) 3,200千円 ・チラシ等印刷製本費、キッチンカー用ガソリン代(需用費)500千円 ・謝金/旅費500千円 ○事業承継プラットフォーム構築事業 ・人件費 2,040千円 ・需用費（燃料）500千円 ・サイト運用費（使用料）200千円 ・事業者サポート、メルマガ等作成（委託料）1,500千円 ・セミナー開催委託（委託料） ・町内事業者に対するアンケート調査(委託料)862千円 ○総合型スポーツクラブ創設 ・事業運営経費（人件費） 4,080千円 ・協議会経費（謝金）104千円 ・スポーツ教室運営費（謝金等）1,036千円・イベント開催関連費（謝金等）565千円 ○フィールドワーク型研修創出事業 ・事業運営経費（人件費）2,040千円 ・ECサイト運用費（使用料）240千円 ・専門業者への委託料1,500千円 ・PRイベントにおける講師謝金600千円 ・PRイベントの宣伝広報費400千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+80名） ②事業承継した事業者数 （+12事業者） ③総合型スポーツクラブ会員数（+500名） ④キッチンカー・コンテナハウス利用団体（+39団体） ⑤企業研修受入れ団体数（+35団体）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.shintomi.lg.jp/so-shiki/sogoseisaku/gyomu/seisaku_k-eikaku/3230.html

事業概要：1000人が笑う村の関係人口1000人創出事業

継続

申請者	宮崎県西米良村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	241,749千円 (19,724千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・拠点施設整備：交流人口・関係人口創出のために受け皿となる施設を整備し、観光需要に応える。 ・交流人口の拡大：「にしめら四季まつり」を開催することで、県内外からの観光客が増加する。 ・関係人口の拡大：保育園留学、大学生受入、「にしめら四季まつり」により、関係人口を構築する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「1000人が笑う村」の関係人口1000人創出事業として、オープンチャットやイベント等を活用して関係人口を創出する。また、拠点施設を中心に大学研修等の受け入れを行い、デジタル関係人口を増やす。 関係人口の受け皿として「保育園留学」を実施し、交流人口の増加のほか、滞在型観光地としての地位を確立する。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・大学生研修受け入れに伴う観光協会負担金 540千円 ・保育園留学委託料 5,500千円 ・観光協会負担金 (内訳) ・「にしめら四季まつり」企画・運営費 4,400千円 ・旅費・交通費 648千円 ・広告宣伝費 8,636千円					 	
主なKPI	①デジタル関係人口数 (+1,000人) ②「カリコボーズの宿」の観光消費額 (+10,000千円) ③保育園留学利用組数 (+25組) ④「にしめら四季まつり」入込客数 (+14,000人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://nishimera.info/ (効果検証) https://nishimera.info/ ※西米良村観光協会ホームページに記載

事業概要：無形文化と食を核としたサステナブル観光推進事業

新規

申請者	宮崎県西米良村					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	652,681千円 (66,231千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・文化資源の再定義と食体験の融合により、滞在時間と消費額を拡大し「文化の稼ぐ力」を創出する。 ・少人数・高単価な滞在型プログラムの造成により、集客数に依存しない自立した持続的な運営を確立する。 ・拠点機能・アクセス道路・国際基準（GSTC）を三位一体で強化し、インバウンド対応等の受入基盤を高度化する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・「おがわ作小屋村」を拠点施設として再整備するとともに、神楽や民話等の無形文化を鑑賞にとどまらない型・体験型プログラムとして再構築して観光客を誘客する。 ・台湾市場のニーズを直接検証し、適切な価格設定と受入体制の磨き上げを行う。 ・「持続可能性を国内基準で担保した地域」であることを客観的に示すサステナブル観光国内基準（JSTS-D）の考え方を導入するとともに、村がJSTS-Dを取得する。 ・国道からおがわ作小屋村へのアクセス環境を改善するため、道路改良等を行う。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト： ・「西米良ガストロノミー」ブランド開発業務委託費：5,005千円 ・戦略的インバウンド誘客・高付加価値ツアー造成実証事業：2,056千円 ・サステナブル観光国内基準（JSTS-D）管理体制整備事業：2,500千円 ○拠点整備： ・おがわ作小屋本体内工事費：12,670千円 ○インフラ整備： ・県道 小川越野尾線 道路改良：19,000千円 ・村道 鉾山谷（かなやまだに）古川線 舗装改修：25,000千円					 	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①村内全体における観光消費額（+60,000千円） ②本事業エリアにおける観光消費額単価増（+3,500円） ③高付加価値体験・滞在プログラム参加者数（+350人泊） ④サステナブル観光認証（GSTC認証）取得に向けた進捗率（+100%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://nishimera.info/ （効果検証） https://nishimera.info/ ※西米良村観光協会ホームページに記載

事業概要：歴史と文化をつなぐ高城のにわ交流拠点整備事業

継続

申請者	宮崎県木城町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	338,049千円 (203,984千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	歴史ある建築物・外構（旧江藤病院）を一体的に活用した歴史や文化をつなぐ交流拠点施設を整備することにより、町の魅力発信や地域住民の交流による活気と賑わいの創出を図る。 周辺施設の機能を補完し、周遊ルートの整備・活用を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域内の歴史ある建築物・外構を一体的に活用し、地域外からの人を呼び込むため、建築物の改修と庭園を含む外構の整備を行う。 建築物（旧江藤医院）については、休憩スペースや歴史文化資料の展示スペース、カフェや商業施設のテナントスペースなど、誘客機能を有した施設へと改修する。 庭園については、庭園デザイナー監修による独自性を持った庭園へと改修し、近接する高城城跡跡等、周辺施設と合わせた周遊ルートも併せて整備・活用を図ることで観光客の増加につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 歴史と文化をつなぐ高城のにわ交流拠点施設 ・建築物 190,630千円 ・外構・庭園 13,354千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①総人口（-395人/累計）※2032年：4,128人 ②施設の利用者数（+18,000人/累計） ③文化財を活用するイベント・活動実施数（+9回/累計） ④物産品販売取扱店舗数（+1軒/累計）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.kijo.lg.jp/sosikikarasagasu/tiikiseisakuka/tiikiseisaku_seisaku_keikaku/293.html

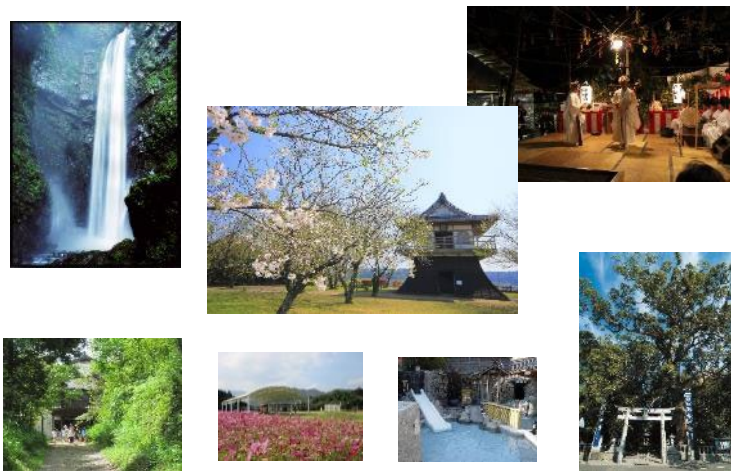
事業概要：学びとウェルビーイングを共創する多世代交流・子育て支援拠点（エリア）整備事業

継続

申請者	宮崎県木城町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	745,097千円 (29,325千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	町内唯一の学校、木城学園（義務教育学校）周辺を多世代交流・子育て支援拠点として整備し、世代に関係なく町で過ごすことが心地よいと思えるまち、子育て世代に住みよいまちを目指す。 あらゆる世代の住民が「そこに行けば誰かに会える」という安心感を持つことのできる拠点として整備し、地域住民同士が支えあう持続的な地域コミュニティの形成と町への愛着醸成を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 庁内に散在している児童館等の機能を集約し、さらにこれまで利用がなかった青年期の世代が利用できる環境やイベントが開催できる環境を兼ね備えることで、移住者を含めた多世代が活動可能な場を創出する。 また、施設に近接する形で子供から多世代まで利用できる遊具やビオトープを有した公園を整備し、新たに整備する施設や既存の公共施設同士のハブとすることで、施設の利便性の向上や相互利用の増加、各施設で実施するイベントの連携による魅力向上による誘客の増加を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○既存施設（椎木児童館）の解体工事 ・解体工事設計業務委託料 6,593千円 ・アスベスト調査委託料 1,025千円 ・解体工事費 21,707千円						
主なKPI	①総人口数（▲442人）※2032年：4,081人 ②定住促進奨励金制度を利用し移住した転入者数（+692人） ③多世代交流・子育て支援施設の利用者数（+510人） ④拠点を利用した事業実施の回数（+55回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.kijo.lg.jp/sosikikarasagasu/tiikiseisakuka/tiikiseisaku_seisaku_keikaku/293.html

事業概要：遊びと学びを包摂した魅力探求プロジェクト

継続

申請者	宮崎県木城町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	11,847千円 （5,489千円）
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	町のイメージ戦略と観光関連施設・文化施設の利活用方針を連携させることで、町の魅力を総合的に発信し、相乗効果を生み出す。木城町にある自然、コミュニティ、文化、歴史等の地域資源を最大限に活用し、町のブランドイメージを向上させ、関係人口・交流人口・観光消費額の増加や交流を重視した事業により町民の満足度・幸福度向上に繋げ、より魅力的な町を創出する。 イメージ戦略と観光関連施設・文化施設の利活用方針の構築に伴う市場調査の段階から、町民参加型のワークショップの実施や地域の団体と連携することで、地域に住む人も地域内の魅力を再確認する機会とし、シビックプライドの醸成や交流事業への地域住民や団体の参画につなげ、地域活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市場調査（実態調査、意識調査、モニター調査等）に基づき、町のイメージ戦略と観光関連施設・文化施設の利活用方針を構築する。これにより、地域の特性を活かした観光プラン等の創出やウェブを中心としたプロモーション（キャッチフレーズ、ロゴ、ウェブサイト更新等）を展開する。 住民参画、観光、空き施設の利活用に関する専門家を招聘し、専門的な知見による意見提示と課題解決へ向けた議論にアドバイザーとして参画してもらうことで、持続可能な観光振興・交流事業の推進に取り組む。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 市場調査（実態調査、意識調査、モニター調査）を実施し、イメージ戦略・施設の利活用方針を構築し、高付加価値化した観光プランの創出・実施やプロモーションを展開する。 市場調査から観光振興・交流事業の展開まで一貫して参画できるアドバイザー（外部専門家）を招聘し、地域の特性に沿った事業展開を促進する。 ・アドバイザー（外部専門家）派遣 2,178千円 ・観光マーケティング・企画運営支援 3,311千円						
主なKPI	①観光消費額（+36,092千円） ②木城町お出かけガイドの年間総AU数（+0.25万AU） ③体験型観光ツアー・イベントの参加者数（+170人） ④町全体の観光客数（+20,000人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.kijo.lg.jp/sosikikarasagasu/tiikiseisakuka/tiikiseisaku_seisaku_keikaku/293.html

事業概要：山村と都市をつなぐ交流・関係人口拡大プロジェクト

新規

申請者	宮崎県木城町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,563,827千円 (789,469千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	川原自然公園を整備し、手つかずに残っている尾鈴山系・小丸川水系の自然やその空間の中でのアウトドア体験やワーケーション、各種自然体験、食の推進、健康増進、教育・子育て支援等様々なメニューを活用し、町内各施設の観光誘客の促進や滞在時間の延伸、移住や交流・関係人口の拡大、地域の消費拡大に効果的に寄与する施設として整備するとともに、観光消費額の引上げと交流・関係人口の拡大に結び付けていく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 交流拠点施設兼総合案内所やコテージ、オートキャンプサイト、駐車場完備の芝生フリーサイト等を整備し、利便性向上を図るとともに、関係団体や地元農林商工業者と連携した特産品販売や観光PRを行い、交流・関係人口の拡大に結び付ける。また、園内全域Wi-Fiやオンライン予約システム、キャッシュレス決済対応レジを導入することにより利用者増及び売上向上を図り、地域内の消費拡大に寄与する施設とする。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・川原自然公園 交流拠点施設兼総合案内所、コテージ、トイレサニタリー棟、ボルダリング館更衣室兼倉庫を整備（建築工事費 679,159千円） ・フリーキャンプサイトの盛土造成、オートキャンプサイト新設のための盛土造成、コテージエリア・キャンプサイト内の園路整備、キャンプサイト周辺駐車場整備（外構工事 52,364千円） ・園内Wi-fi機器設置、トレーラーハウス、交流拠点施設兼総合案内所の販売用什器、カフェエリアのテーブル、椅子等（その他 57,946千円）						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本町における地域全体での観光消費額（+6,926万円） ②川原自然公園の収入（+3,524万円） ③川原自然公園の利用者数（+49,800人） ④町全体の観光客数（+55,800人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月公表予定

事業概要：地域食材を活用した商品開発、地域ブランディング事業

継続

申請者	宮崎県都農町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	32,286千円 (10,685千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・食のまちづくり、地域商社づくりを推進、町のあらゆる事業との連携や町内外への発信、浸透を図ると共に町の強みである多様な食材を使った商品開発を進め、都農町の認知度を高めるとともに、地域オリジナルの食を活かした農業、観光振興及び地域内所得の循環に繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本町では、総務省地域活性化起業人制度を活用し、令和5年度から①町内一次産品の外販②食を通じた地域ブランディング、プロモーションに必要なプロジェクトの立ち上げ、商材（書籍）の開発に取り組んできた。 今後、この活動において生まれた販路や書籍という基盤を最大限に活用し、次のフェーズとして町の外郭団体である（一財）つの未来まちづくり推進機構を中心に、町の強みである農業及び観光の発展とこれを実現する仕組みづくり（地域商社）に取り組むため、以下の事業を実施する。 ①地域内食材を活用した商品開発 ②地域の食と消費者との接点拡大のためのプロモーション ③地域内食材のEC販売の拡大					地域内事業者の連携 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ①地域内食材を活用した商品開発 ・商品設計・試作・販売体制構築・旅費（委託料）1,850千円 ・レシピ開発（委託料）1,320千円 ・パッケージデザイン（委託料）770千円 ・加工品開発（委託料）1,650千円 ②地域の食と消費者との接点拡大のためのプロモーション ・計画作成、運営、旅費（委託料）1,850千円 ・書店向けPRイベント開催（委託料）1,650千円 ・書籍PRイベント開催（委託料）1,100千円 ③地域内食材のEC販売の拡大 ・商品ページ作成、受発注管理、PR（委託料）495千円						
主なKPI	①既存のECによる地域商品の販売額（+1,500千円） ②新規開発商品の販売額（+8,000千円） ③町内産品のEC顧客数（+10,000人） ④道の駅つの及び都農ワイン年間来場者数（+7,500人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.tsuno.lg.jp/article?articleId=6a1e5b0210627631c39dbec1

申請者	宮崎県都農町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	422,077千円 (239,079千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	完全閉鎖循環式陸上養殖場及び水産加工センターを拠点とした「生産（養殖）から加工・販売までを一気通貫で実施可能な体制」を構築し、新たな地域ブランド創出による本町の水産業振興につなげるとともに、本町と同様の課題を抱える他地域へ普及・展開可能なビジネスモデルを創出する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「都農町水産夢未来プロジェクト」の課題解決のため、以下の3点の取り組みを行う。 ① 完全閉鎖循環式陸上養殖の中規模（商業ベースとなる40tクラス）の「スマートプラント」を新たに整備し、付加価値の高いタマカイの生産量を増加させ加工場を含めた水産事業の収支向上の実現 ② 新たなブランドおよび商品開発と販路開拓を行い、ふるさと納税返礼品以外の販売の実現（将来的には海外への事業展開も目論む） ③ 陸上養殖から加工販売までを一気通貫で担う事業会社立ち上げの企画と推進					都農町 (プロジェクト統括) ・事業企画・推進 ・KPIおよび予算管理 ・人材育成(統括) コンソーシアム NTT東日本 ・陸上養殖事業企画推進 ・ICT技術の開発・提供 NTT西日本 ・市場調査 ・販路開拓 NTTアグリテクノロジー ・RASの設計施工 ・保守メンテ体制整備 SEAGATE ・加工場運営体制整備 ・販路開拓 ・人材育成(加工) 琉球大学 ・RAS先進技術提供 ・生産技術提供・指導 宮崎県 ・陸上養殖防疫対策指導・助言 ・普及啓発支援 都農町漁業協同組合 ・加工用魚類集荷 ・漁業振興施策実行 ・人材育成(養殖) つの未来まちづくり推進機構 ・新商品の開発 ・販路開拓 ・人材育成(販路) 陸上養殖施設 水産加工センター つのタマカイ	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 ・商品開発・販路促進 商品開発・販売促進（委託料）：2,572千円 ・陸上養殖運用事業（委託料）：7,000千円 （学術研究機関からの技術提供・指導体制の構築） ・陸上養殖生産管理ITシステム事業：10,688千円 （遠隔での養殖技術指導事業に伴う事業設備） ○拠点整備事業経費 ・完全閉鎖循環式陸上養殖場整備 施設整備：211,751千円 ・都農水産加工センター整備事業 冷凍保管庫設置：7,068千円						
主なKPI	①地域における加工品出荷額（+722,777千円） ②陸上養殖における生産量（+3.92t） ③新商品開発数（+5件） ④新規法人設立（+1社） ⑤就労者数（+3人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.tsuno.lg.jp/article?articleId=6a1e5b0210627631c39dbec1

事業概要：民俗学の聖地化による持続可能な地域づくり事業

継続

申請者	宮崎県椎葉村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	44,968千円 (12,478千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	日本で唯一の民俗芸能博物館を拠点として、伝統文化や民俗文化コンテンツ（デジタルアーカイブ化、特別展の実施、SNS発信等）を充実させ、新たな魅力を発信し観光振興につなげる。また、次世代に引き継ぐ持続可能な観光資源とするために、伝承者の育成にも取り組んでいく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 椎葉村に継承されてきた神楽をはじめとする民俗文化について、調査・記録・保存・展示を一体的に行うものである。デジタルアーカイブや3Dスキャンデータの作成・活用、映像コンテンツの多言語化、3Dプリントを用いた展示物の制作を段階的に実施する。また、国指定重要文化財である椎葉神楽の面を対象に、修復作業を通じて技術を学ぶワークショップを行い、保存技術の記録と継承に資する取組を進める。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○デジタルアーカイブ等による民俗学に関する保存展示充実事業 ・デジタルアーカイブ化（役務費）2,112千円 ・映像データリニューアル（委託料）1,496千円 ・博物館ブランディング事業（委託料）1,100千円 ○民俗学聖地化事業 ・情報発信（謝礼：300千円、費用弁償300千円） ・オーディオガイドによる案内の充実（委託料）769千円 ○地域資源継承事業 ・継承者育成講座開催（謝礼：300千円、費用弁償300千円） ・地域行事復活事業（謝礼）100千円 ・文化財修復ワークショップ（謝礼：60千円、費用弁償130千円） ○保存展示充実事業 ・展示室リニューアル事業（委託料）5,511千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+3.3億円） ②伝統芸能の新規継承者数（+15人） ③当事業による来村者数（+2,500人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.vill.shiiba.miyazaki.jp/affair/statistics/index.php

事業概要：若い世代を中心とした持続可能なまちづくり推進プロジェクト

継続

申請者	宮崎県高千穂町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	15,432千円 (5,344千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	町の観光資源や地域資源等の特性を生かしたキャリア教育を構築し、まちを担う人材を長期的に育成することを目指す。 若い世代とまちづくり公社が連携し、地域資源を活用した商品開発を行うことで利益の獲得を目指す。 全国から町内の高校へ留学する若者を増やし、関係人口の創出を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、町の構造的課題の解決と将来像の実現に向け、若い世代が「学び」から「実践・発信」までを一体的に体験できるまちづくりプログラムを展開する。小中高の連携強化、庁内横断体制の構築、地域内外の生徒の協働、大学等との連携による専門学習機会の創出を図るとともに、商品開発や観光案内、地域連携活動を通じて、関係人口の拡大と次世代人材の育成、地域活力の向上を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・若い世代による地域と連携した活動（地域協創プロジェクト）の支援（負担金）2,520千円 ・幼保小中高を対象としたキャリア教育（報償費、旅費等）2,024千円 ・若者視点での商品開発事業（委託料）800千円						
主なKPI	①関係人口数（+15人） ②地域と連携した活動に参画した人数（+60人） ③若い世代による商品開発事例数（+3個） ④高千穂高校生のうち県外（全国卒）の生徒数（+16人） ⑤ICTまちづくりLABOの利用人数（+3,300人） ⑥地域への就業者数（+3人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town-takachiho.jp/top/soshiki/sougou/3/4409.html

事業概要：地域資源及び関係人口を活用した町民のQ O L 向上事業

継続

申請者	宮崎県五ヶ瀬町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	7,500千円 (2,500千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・林業残渣物などの地域資源を活用し、新たな産業を創出を図ることで、地域の魅力発信及び基幹産業の活性化、林業残渣物の放置等による環境課題の改善を目指す。 ・地域全体で支える支援体制の構築を図ることで、新規開業を後押しし、事業の継続性を高めることで、地域経済の活性化に寄与する。 ・女性や若者の雇用機会の創出及び関係人口が地域づくりに関わる機会の拡大を通じて、地域コミュニティの再生や町への愛着醸成、住民のQ O L 向上並びにU I J ターンの促進に寄与する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 林業残渣物を活用したフレグランス品の開発を行うことにより、林業分野における新たな付加価値の創出と雇用機会の確保を図り、基幹産業の活性化に資するとともに、女性や若年層における職業選択の可能性を拡大し、地域活性化を図る。また、若者や関係人口の参画を促す仕組みの構築や、アルベルゴ・ディフーズの考え方を取り入れた取組を推進することで、開業支援及び事業の継続性を高める体制を強化し、地域の魅力発信を通じた交流人口及び関係人口の拡大及びU I J ターンの促進による人口減少の緩和に寄与する。					サークル  若者や関係人口の参画を促しながら、アルベルゴ・ディフーズの考え方を活用した開業支援を行う。	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・関係人口を活用した町民のQ O L 向上事業（委託料）1,500千円 旅費・報償費、調査費、消耗品費、イベント開催費 ・五ヶ瀬の香りプロジェクト事業（特産品開発）（委託料）600千円 旅費・報償費、商品開発費、イベント開催費（備品購入経費）400千円 フレグランスオイル抽出用器具の購入					林業者  林業者と協業し町産材の枝葉を加工しフレグランス商品を開発する。 ⇒ 商品開発（例） 	
主なKPI	①地域へのU I J ターン数（+9人） ②新規開業軒数（+14軒） ③枝葉の処理重量（+2.6 t） ④地域資源を活用した商品の売上高（+760千円）					URL	https://www.town.gokase.miyazaki.jp/kakuka/kikaku/2242.html

事業概要：「道の駅ごかせ」（仮称）整備事業

新規

申請者	宮崎県五ヶ瀬町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	588,000千円 (68,000千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・「道の駅ごかせ」(仮称)の整備を通じて、交流・関係人口の拡大、地域産業・経済の維持・振興、そして町民の郷土愛醸成を図ること目的とする。 ・農林産業への活力付与と産業基盤強化、本町の情報発信拠点とした交流・関係人口の増加と地域経済活性化、高齢者の社会参加や地域コミュニティ維持及びUIJターンの促進による人口流出抑制の効果を見込む。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 施設利用者増加に伴い手狭となった既存特産物販売施設「特産センターごかせ」の改修及び道の駅化(機能向上)を図る。これにより、来町者の利便性向上、特産品等の販売及び情報発信拠点を拡大し、更なる利用者の増加、地域産業の振興、雇用の創出、本町の知名度向上、地域の賑わい創出等につなげていく。 ・調査・設計→ 測量、地質調査、実施設計 ・建築工事 → 農産物販売所、事務所、トイレ、情報発信施設、休憩施設 ・撤去工事 → 既存トイレ、浄化槽、プレハブ ・土木工事 → 緑地工事、給排水設備工事、外構工事、駐車場整備					3 実施計画図 以上の検討を踏まえ、実施計画図は以下のとおりとした。 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 「道の駅ごかせ」(仮称)に向けた実施設計(建築及び土木)(委託料) 68,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①町内主要観光施設における観光消費額(+160百万円) ②「道の駅ごかせ」(仮称)利用者数(+86千人) ③「道の駅ごかせ」(仮称)特産品等販売額(+96百万円)					URL ※交付金の具体的用途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.gokase.miyazaki.jp/kakuka/kikaku/2242.html